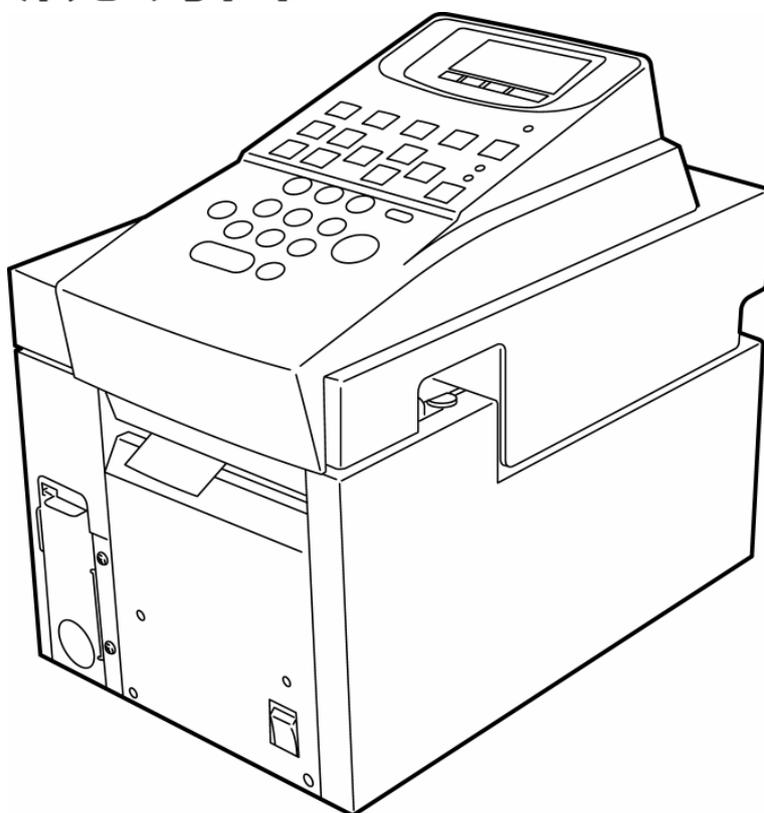




LABEL PRINTER

LP-80 / 80T

取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

目次

1. 必ずお読みください.....	1
1.1. はじめに.....	1
1.2. ご使用上の注意.....	1
1.3. ご使用上のお願い.....	3
1.4. お手入れのしかた.....	5
1) プリンタヘッドのクリーニング方法.....	5
2) プラテンローラーのクリーニング方法.....	5
1.5. バーコード入りラベルを印刷するときのご注意（サーマルヘッド交換について）.....	6
1) 1日の作業開始前に、必ず以下の手順でヘッドの状態をご確認ください。.....	6
2) サーマルヘッドの交換について.....	6
【エラーが表示された場合の対処】.....	6
1.6. 本機でできること.....	7
1.7. 本機で使えるラベル紙について.....	8
2. お使いになる前に.....	9
2.1. 同梱品をご確認ください.....	9
2.2. 本体各部の名称と働き.....	10
2.3. キーの役割とディスプレイの見かた.....	11
3. 印刷の準備.....	13
3.1. メモリーカードのセット～本機単体で使う場合.....	13
3.2. パソコンとの接続～パソコンのプリンタとして使う場合.....	15
3.3. ラベルのセット.....	16
3.4. 用紙を設定する.....	18
（マックス標準用紙を使う場合）.....	18
（マックス特注用紙を使う場合）.....	19
4. 印刷する（本体のみ）.....	20
4.1. ファイルを呼び出して印刷する.....	20
（ファイル番号を指定して印刷する）.....	20
（スクロールしてファイルを選択し印刷する）.....	21
4.2. 呼び出すファイルの内容を確認する.....	21
5. 日付を変更する.....	22
5.1. 加算日付設定した時計オブジェクトのあるラベルを発行する.....	22
5.2. 仮想カレンダーを使う.....	23
（仮想カレンダーを一時的に設定する）.....	23
（仮想カレンダーありを初期値として設定する）.....	23
（仮想カレンダーを設定したときの印刷）.....	24
5.3. 賞味期限を一時的に「枠外記載」などに変える.....	25
（日付を設定表現に変える）.....	25
（日付に一時表示する設定表現を登録する）.....	26
5.4. 本体の時計を合わせる.....	26

6. 通し番号をつける.....	27
7. 複数のラベルをまとめて印刷する（予約印刷）.....	28
7.1. ファイルを予約登録する.....	28
7.2. 予約ファイルを呼出し印刷する.....	29
《予約印刷の制約事項》.....	29
7.3. 予約ファイルを削除する.....	29
7.4. 予約ファイルを修正する.....	30
7.5. 予約ファイルをコピーする.....	31
8. リストデータの予約印刷.....	32
8.1. リスト予約印刷を可能にする.....	32
8.2. リストデータを予約する.....	32
8.3. リスト予約したファイルを印刷する.....	33
《リスト予約印刷の制約事項》.....	33
8.4. リスト予約を修正する.....	34
9. ラベルの情報を修正する（編集モード）.....	35
9.1. 修正についての制約事項【重要】.....	35
9.2. 文字入力の基本操作.....	35
（入力モードの切り替え）.....	35
（半角・全角の切り替え）.....	35
（ひらがな）.....	36
（漢字変換）.....	36
（カタカナ変換）.....	37
（単漢字変換）.....	37
（英 大文字入力～全角）.....	38
（英 大文字入力～半角）.....	38
（数字入力）.....	38
（JISコード入力）.....	39
（記号入力）.....	39
（編集用記号入力）.....	40
9.3. 文字情報を修正する.....	41
9.4. バーコードを修正する.....	43
9.5. インストアマーキング用バーコードを修正する.....	44
（他の項目と連動させておく場合）.....	44
（本機でコードを修正する場合）.....	45
9.6. リストのレコードNo.を変更する.....	47
9.7. リストファイルのデータを修正する.....	48
（リストのレコード情報を呼び出す）.....	48
（リストのレコード情報を修正する）.....	49
（新しくリストのレコード情報を追加する）.....	49
（リストのレコード情報を確認する）.....	50

10. 環境設定	51
(設定できる項目)	51
(設定方法)	55
11. サーマルヘッド自己診断機能	58
【エラーが表示された場合の対処】	58
12. テスト印刷	59
【テスト印刷できるモード】	59
13. モニタ機能	60
(一定期間の印刷枚数を確認する)	60
(ファイルを作成する)	61
(累計枚数を確認する)	62
(累計枚数を初期化する)	62
14. こんなときは	63
14.1. エラー表示と対処方法	63
14.2. 故障かなと思う前に	66
15. 製品仕様など	68
15.1. お客様登録をお願いします	68
15.2. ラベルデータの加工サービスについて	68
15.3. オプション品について	69
(専用フィーダ)	69
(巻取り機)	69
15.4. 製品仕様	70
15.5. 保証書／保守サービス	70

1. 必ずお読みください

1.1. はじめに

この度はラベルプリンタ LP-80 をご購入いただき、誠にありがとうございます。本機はラベル作成作業の効率化と品質の向上を目指して開発された、スタンドアロン・パソコン接続兼用タイプのラベルプリンタです。本機では、添付の専用 Windows ソフト（楽らくラベル）をお使いいただき、どなたにも簡単な操作で、ご希望のラベルレイアウトができるだけでなく、本機のみでの簡単な操作でスピーディにラベル印刷することができます。ラベル作成作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

1.2. ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

※ VCCI classB 適合は、本体のみ、またはパソコンと接続してのご使用の場合のみです。

■表示について

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。



説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■表示について

	「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
	「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
	「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

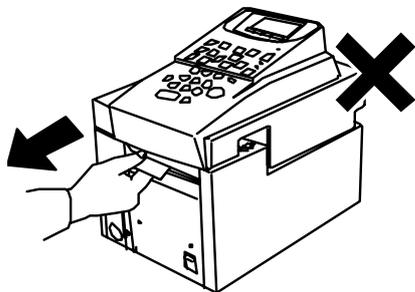
 警 告	
	本機は絶対に <u>分解または改造しないでください</u> 。火災、感電、故障の原因となります。
	<u>本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください</u> 。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	<u>電源はAC100V専用コンセントを使用してください</u> 。 100V以外の電源を使用すると本機が故障したり火災、感電の原因になります。
	電源は直接コンセントからとり <u>タコ足配線はしないでください</u> 。火災の原因になります。
	<u>電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください</u> 。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
	<u>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください</u> 。感電の恐れがあります
	<u>水、薬品などが機械にかからないようにしてください</u> 。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	<u>故障のまま機械を使わないでください</u> 。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	<u>カッタ部には、絶対手や物を差し入れないでください</u> 。機械の故障の原因になるばかりでなく身体上の危険を生じることがあります。
	<u>本体は必ず水平に設置してください</u> 。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

 注 意	
	<u>大きな容量を必要とする機器</u> （冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等） <u>とコンセントは共用しないでください</u> 。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
	<u>紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください</u> 。火災や故障の原因になります。
	<u>連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください</u> 。
	<u>メモ리카ードの装着脱は、必ず電源OFFの状態で行なってください</u> 。電源ONのままメモ리카ードを装着脱すると保存したデータが消失したり故障する場合があります。
	<u>電源プラグは定期的に清掃してください</u> 。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、 <u>電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください</u> 。コードが破損して火災や感電の原因になります。
	<u>パソコンやメモ리카ードに保存した内容は、永久的な保存はできません</u> 。故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。予めご了承ください。
	<u>サーマルヘッドには絶対にさわらないでください</u> 。印刷直後のサーマルヘッドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れがサーマルヘッドの故障の原因になることがあります。
	<u>本機内部にラベル、異物等がはさまるなどで、印刷やカッタが正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください</u> 。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
	<u>ドアカバーの開閉時には手等をはさまないように注意してください</u> 。
	<u>本機を移動させる時は、必ずドアカバーを閉め、本体底部を持って運んでください</u> 。落下等でけが、故障の原因になります。

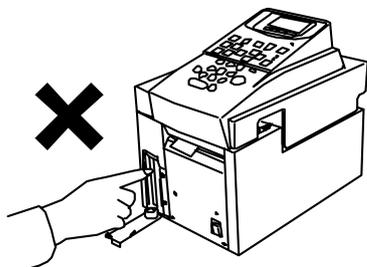
1.3. ご使用上のお願い

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

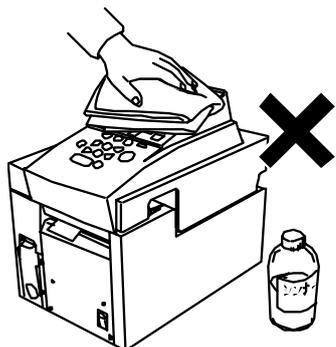
1. 電源が入っているときに、ラベルをセットした状態で強く引っ張らないでください。



2. コネクタには直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となる場合があります。

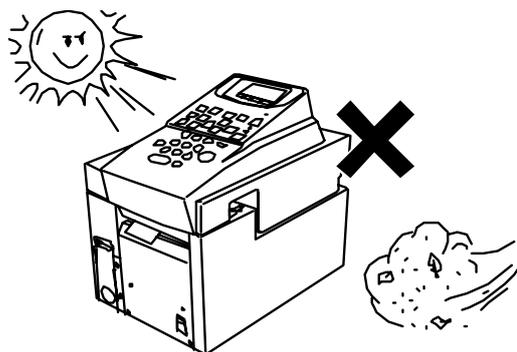


3. 本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。

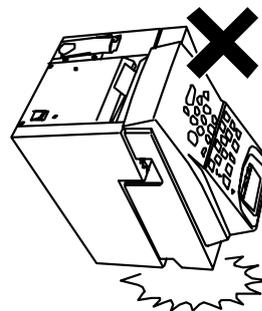


4. トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。

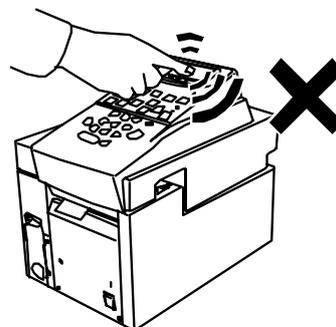
- 1) 直接日光の当たる場所やヒーター等熱源に近い場所
- 2) ホコリや湿度の多い場所
- 3) 振動や衝撃の加わる場所
- 4) 温度が5℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
- 5) 温度が0℃以下、40℃以上になる場所に保管しないでください。



5. 落としたり、ぶついたりして、強いショックを与えないでください。

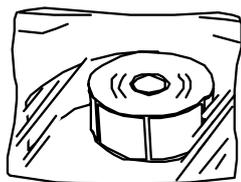


6. ディスプレイ部を強く押さないでください。割れることがあります。



7. 消耗品（ラベル）は専用のものをお使いください。その他のものをご使用になると正常に動作しなかったり、印刷しない場合があります。

8. ラベルにホコリやゴミ等が付着すると、LP-80での印刷時にインクが点状に抜けることがあります。ラベルの保管は梱包の中に入っていたビニール袋に入れ、ホコリやゴミが付着しないようご注意ください。
なお、ホコリやゴミが付着した場合は、布などで取り除いてからご使用ください。



9. 本機で使えるラベルは感熱紙のみです。ラベルの保管は、直射日光や高温多湿の場所を避け、冷暗所に保管してください。

1.4. お手入れのしかた

下記に従って、定期的にメンテナンスしていただくことをお奨めします。

1) プリンタヘッドのクリーニング方法

【こんなときに】

- ・数千枚のラベルを印刷した後
- ・印字がかすれる（白いスジが入る）場合
- ・使用量が月 1 万枚以上ある場合は 5000 枚毎を目安にクリーニングしてください。

【想定される原因】

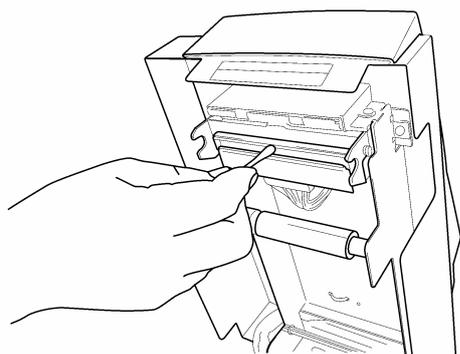
- ① プリンタヘッドにホコリ等が付着した。
- ② プリンタヘッドにプレ印刷ラベル使用時に印刷されたインクが付着した。
- ③ プリンタヘッドにラベル端部からはみだした粘着剤が付着した。

【対処方法】

- 1) ドアカバーを開けます。
- 2) 図の細い黒い線の部分を市販のエタノールやアルコールを浸した綿棒で拭きます。

※プラテンローラ（黒いローラ）をアルコールで絶対に拭かないでください。

※市販のウェットティッシュは使用しないでください。



- 3) 図の部分が乾いたら、ラベルをセットし、ドアカバーを閉めます。
- 4) テスト印刷を行ない確認します。

【上記方法で症状が改善しない場合】

プリンタヘッドの素子破損が考えられます。ヘッド交換をしてください。

2) プラテンローラのクリーニング方法

【こんなときに】

- ・異音がする。
- ・用紙が送れない

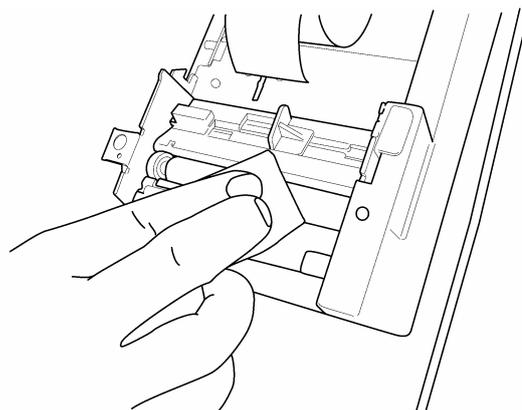
【想定される原因】

- ・プラテンローラーが汚れている

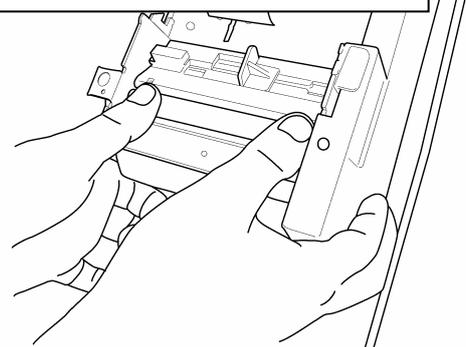
【対処方法】

- 1) 電源を OFF にし、ドアカバーを開けます。
- 2) 図の黒いローラ部分を乾いたきれいな布で乾拭きします。

※エタノールやアルコールを浸した布は絶対に使用しないでください。



ローラを手で押しまわして見えない部分をクリーニングします。



- 3) ラベルをセットしドアカバーを閉めます。
- 4) 電源を ON にし、テスト印刷を行ない確認します。

【上記方法で症状が改善しない場合】

プラテンローラーの交換をしてください。

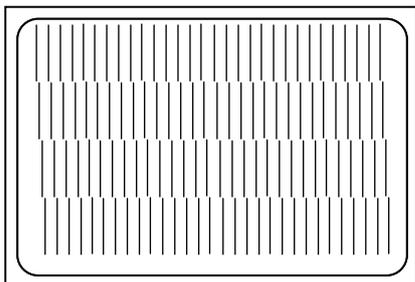
1.5. バーコード入りラベルを印刷するときのご注意（サーマルヘッド交換について）

本機で JAN コードなどのバーコードを含むラベルを印刷する場合は、次の点にご注意ください。

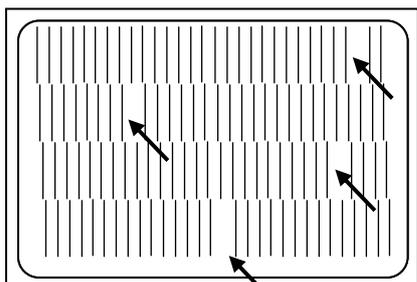
1) サーマルヘッド印字抜けの確認のしかた

ファイル呼出し画面で、[テスト印刷] キーを押します。
印字抜けチェックのパターンが印刷されます。
線が抜けているように見える場合は、印字抜けが発生しています。

（印字抜けがない場合）



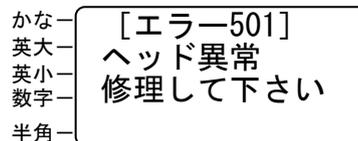
（印字抜けがある場合）



- 印字抜けが確認された場合は、ラベル印刷を止め、サーマルヘッドをクリーニングしてください。再度、「印字抜けチェック」を行ない改善しない場合は、ラベル印刷を行わずに、すみやかにサーマルヘッドを交換してください。

2) サーマルヘッドの交換について

本機のサーマルヘッドは消耗品です。
本機がサーマルヘッドに異常を検知するとメッセージが表示されます。



【エラーが表示された場合の対処】

（エラー500：ヘッドに異常個所があります）

- 電源 ON 時に表示される場合があります。
- ラベル発行時に「エラー501」が表示されなければ、印字に使う個所に異常個所はありませんので、問題なくお使いいただけます。

（エラー501：ヘッド異常。修理して下さい）

- 印刷した（または、しようとした）ラベルの印刷範囲内にヘッドの素子破損個所があります。

（ラベルにバーコードがある場合）
速やかにサーマルヘッドを交換してください。
バーコードが正しく読み取れない場合があります。

（ラベルにバーコードが無い場合）
「ヘッド診断機能」を「しない」に設定し、印刷してみてください。
印刷結果が問題ないと判断されれば、そのままご使用になって差し支えありません。

注意

- サーマルヘッドの交換時期は、累計印刷距離が 20km（目安としてラベル 500 巻程度・40m 巻の場合）程度です。
- ヘッドの交換はご購入販売店様までご依頼ください。
- バーコードは、細バーサイズ 3 ドット以上でご使用になることをお奨めします。
- バーコード印字不良などによる損害、ならびに逸失利益については、弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。

1.6. 本機でできること

■スタンドアロン型の感熱ラベルプリンタとして

- 1) パソコン上で作成したラベルデータを、メモリカードを介して簡単にプリントすることができます。
※あらかじめお使いのパソコンに本機のプリンタドライバをインストールする必要があります。
※お使いのパソコンの OS をご確認ください。

- 2) バーコード入りのラベルが印刷できます。(JAN コード、ITF コードのみ)
※バーコードの設定はあらかじめパソコン上で作成するラベルデータで行ないます。

- 3) パソコンと非常に親和性の高い操作性を実現しています。
パソコン用のレイアウトソフト(楽らくラベル)では、本機に搭載しているフォントをパソコン上で表示しながら本機で実施に印刷するレイアウトに近い表現を画面上で確認してラベルレイアウトを作成することができます。

■パソコン端末型のラベルプリンタとして

- 1) Windows パソコン用の感熱ラベルプリンタとして使えます。
※あらかじめお使いのパソコンに本機のプリンタドライバをインストールする必要があります。

- 2) パソコンから直接印刷する場合は、バーコードの種類、レイアウトの自由度(文字サイズなど)が高まり、自在なラベルが作れるようになります。

- 3) USB 接続のプリンタですので、ノートパソコンなどプリンタポートの無いパソコンでも簡単に接続できます。

1.7. 本機で使えるラベル紙について

■標準でご用意しているラベル紙

商品名	ラベル紙 (粘着剤)	サイズ W×P (mm)	1箱入り数	枚数/巻
LP-L4028	上質感熱紙 (永久接着タイプ)	40×28mm	6巻	1350枚
LP-L4046		40×46mm		840枚
LP-L4062		40×62mm		640枚
LP-L5550		55×50mm		770枚
LP-L6030		60×30mm		1250枚

■特注でお受けしているラベル紙

お客様のご使用になる用途に合わせたラベル紙の特注を承っております。

本機では、上質感熱紙、光沢感熱紙 (キャストコート)、ユポ感熱紙がご使用できます。

粘着性能の異なるラベル紙 (再はく離タイプ、冷食強粘着タイプ)、標準品にはないサイズ、プレ印刷などのご要望にお応えします。

詳しくは巻末記載の最寄りの弊社営業所、またはお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください。

■その他のラベル

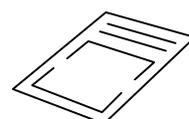
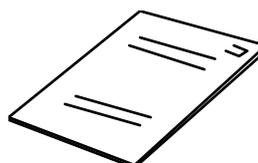
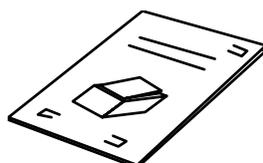
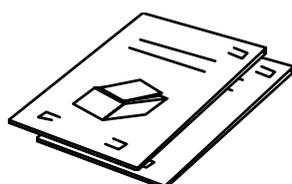
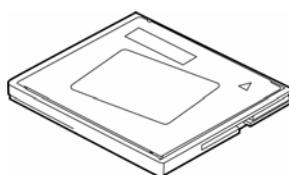
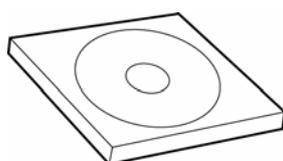
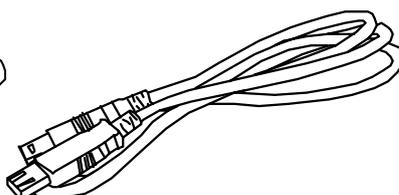
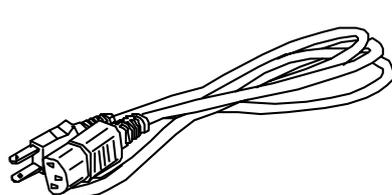
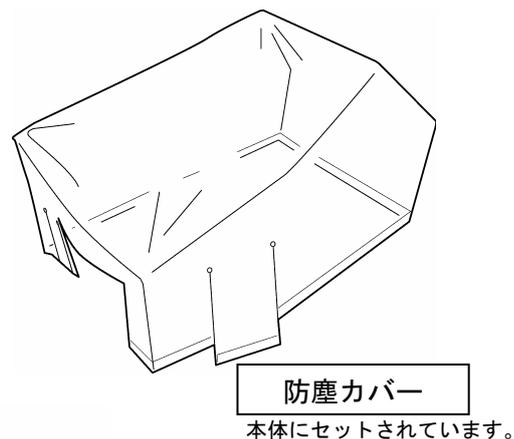
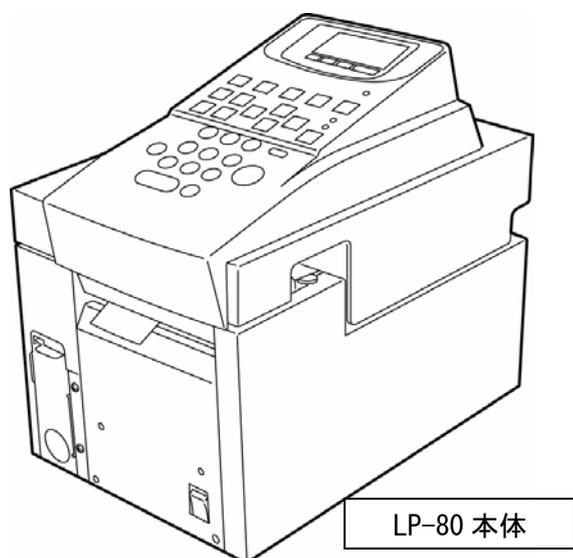
可能な限り、ご要望にお応えできるようご相談に応じております。

詳しくは最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

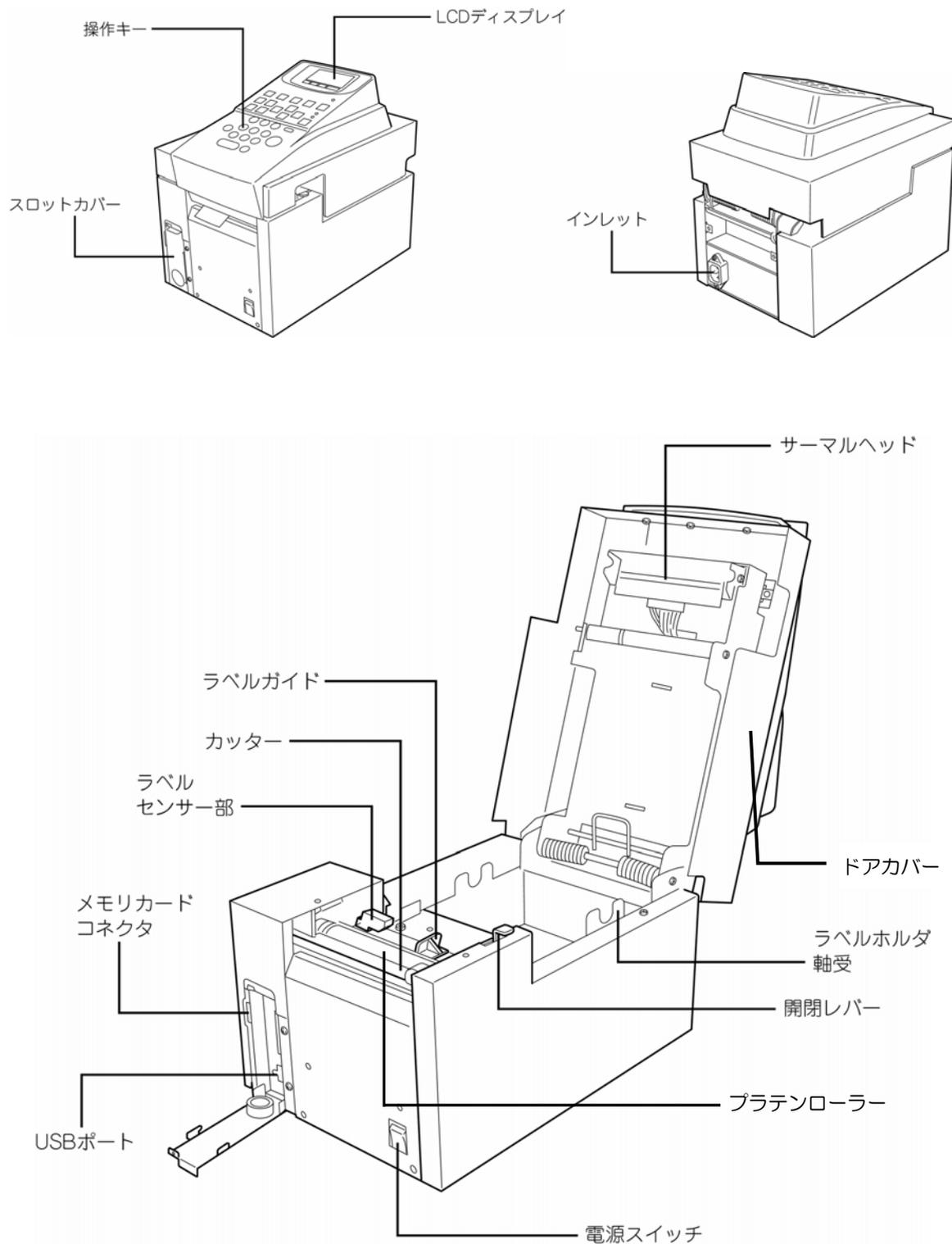
※ 特注機としてご要望を承っております。詳しくは最寄りの弊社営業所までご相談ください。

2. お使いになる前に

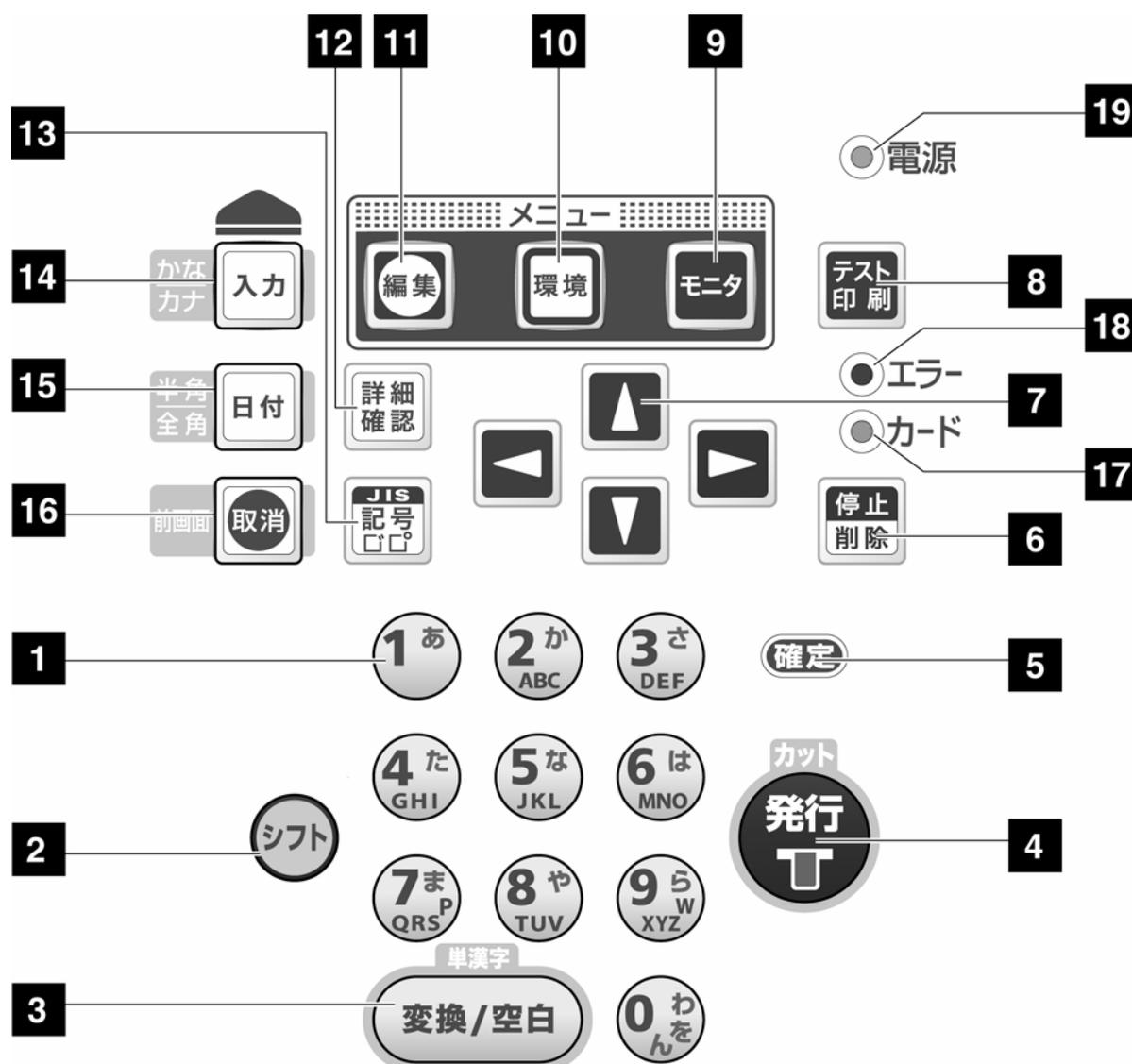
2.1. 同梱品をご確認ください



2.2. 本体各部の名称と働き

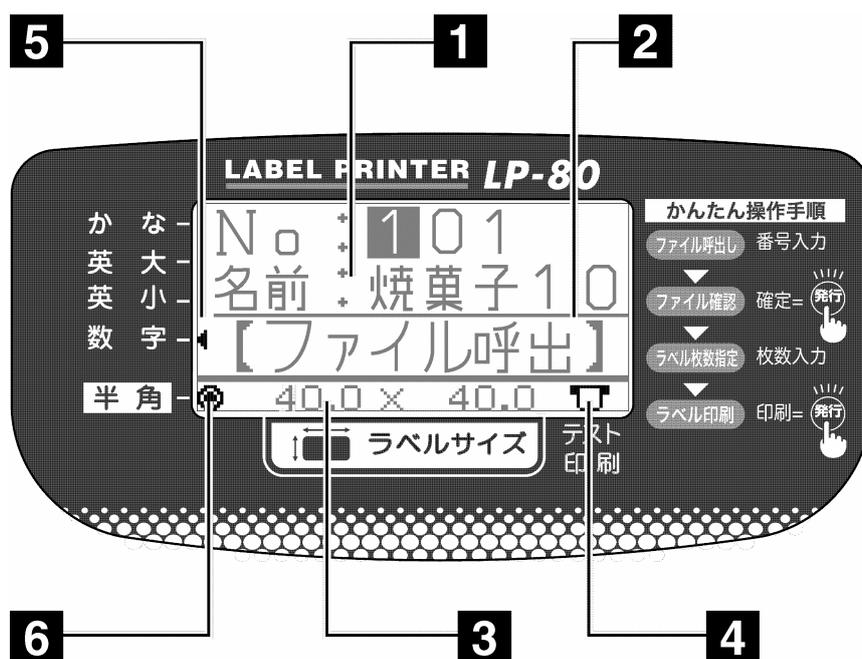


2.3. キーの役割とディスプレイの見かた



番号	キー名称	はたらき
1	数値キー	数字や、アルファベット、かなを入力します。
2	シフト	水色で表示された機能を使うときなどに押します。
3	変換/空白	漢字変換や空白（スペース）を挿入するときに押します。
	単漢字 (シフト+変換/空白)	読みに相当する単漢字変換候補を表示します。
4	発行	ラベルの発行を行なうときに押します。
	カット (シフト+発行)	ラベル1枚分を空送りしカットします。
5	確定	選択項目を確定するときや漢字の変換候補を確定するときに押します。
6	停止/削除	文字の削除を行なうときや、ラベル発行を途中で止めるときに押します。
7	カーソル	カーソルを移動させたり、画面をスクロールするときに押します。
8	テスト印刷	テスト印刷インジケータが点灯しているときに押します。
9	モニタ	モニタリング機能を使うときに押します。
10	環境	本機のシステム設定などを変更するときに押します。

番号	キー・ランプ名称	はたらき
1 1	編集	ラベルデータの修正を行なうときに押します。
1 2	詳細確認	呼び出したラベルの内容を確認するときに押します。
1 3	記号 、 。	かな入力時には濁点・半濁点の入力をするときに該当するかなを入力後に押します。 変換候補が無いときは記号入力モードになります。
	JIS (シフト+記号)	JIS コード入力モードになります。
1 4	入力	入力モードを切り替えます。順次切り替わります。
	かな・カナ (シフト+入力)	変換候補の文字があるときにひらがなをカタカナに変換します。
1 5	日付	本体の時計機能の設定を一時的に変更したいときや、本体の時計機能の設定をするときに押します。
	半角・全角 (シフト+日付)	1 回押すと半角入力モードになります。再度押すと解除されます。
1 6	取消	操作中のモードをキャンセルして、ファイル呼び出し画面に戻ります。
	前画面 (シフト+取消)	一つ前の画面に戻ります。そのときに設定した値などはキャンセルされます。
1 7	カード ランプ (オレンジ)	メモリカードがセットされていないと点灯します。 スタンドアロン機としてお使いの場合は、必ずメモリカードをセットします。
1 8	エラー ランプ (赤)	本機に何らかのエラーが発生しているときに点灯します。エラー表示を確認し、本書に従って適切に対処してください。
1 9	電源ランプ (緑)	電源をONにすると点灯します。



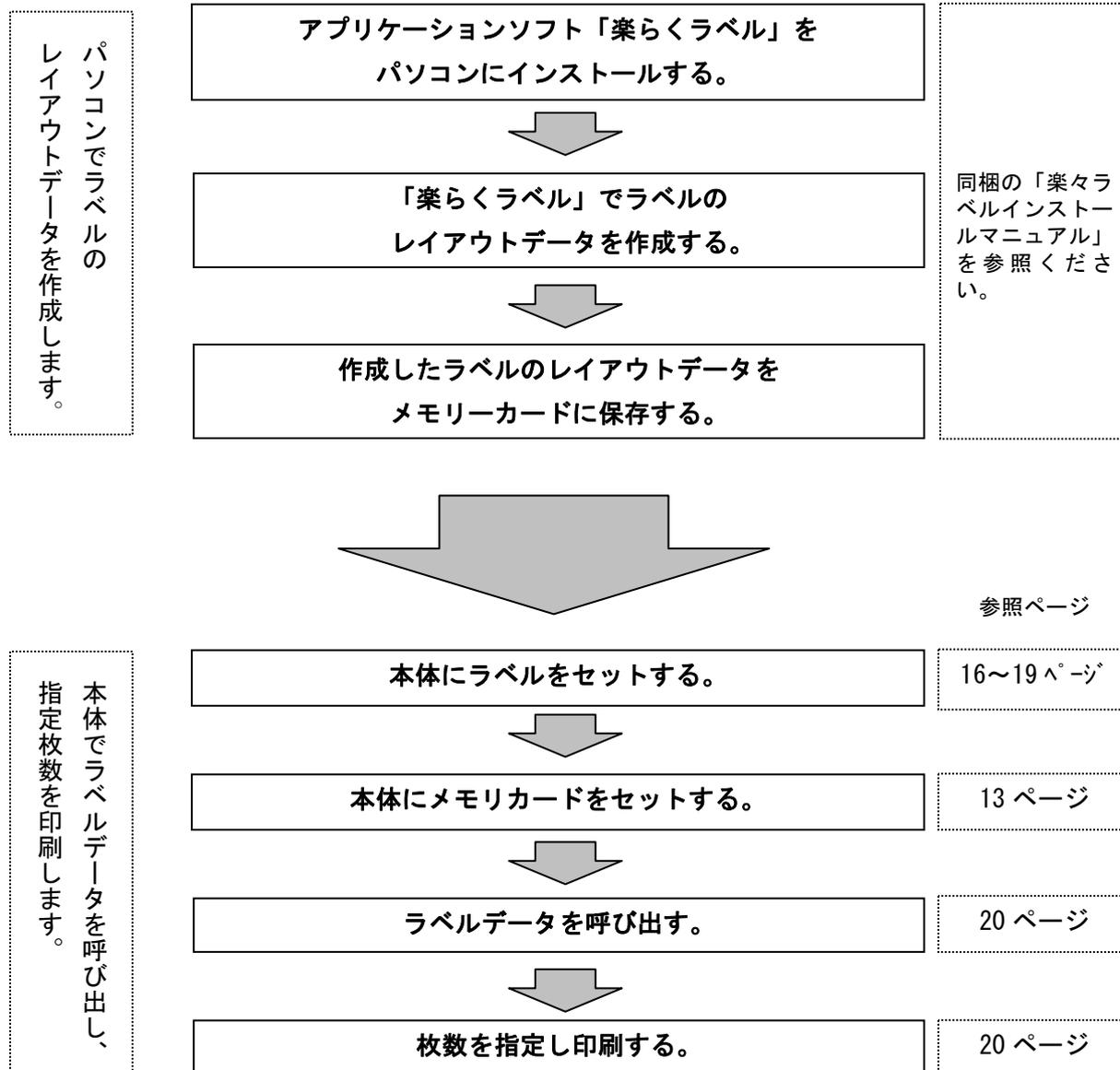
番号	なまえ	はたらき	参照ページ
1	テキスト表示エリア	ファイルNo. や編集集中の文字、数値などを表示します。	20, 35
2	モード表示エリア	現在のモードや状態を表示します。	20, 35
3	ラベルサイズ表示エリア	選択されているラベルデータのラベルサイズを表示します。	20
4	テスト印刷インジケータ	テスト印刷可能な場合に点灯します。	51
5	入力モードインジケータ	現在の入力モードを表示します。	35
6	半角インジケータ	半角モードにすると点灯します。	35

3. 印刷の準備

3.1. メモリーカードのセット～本機単体で使う場合

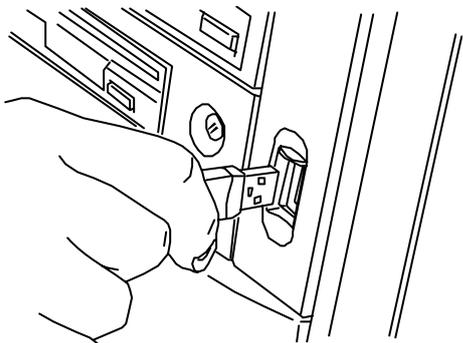
- 📖 あらかじめ添付のCD-ROMで、アプリケーションソフト「楽らくラベル」をインストールする必要があります。インストール、および操作方法は添付の「楽らくラベル」マニュアルをご覧ください。

【基本的な操作の流れ】

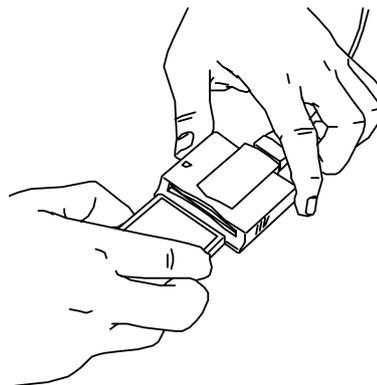


【作成したラベルのレイアウトデータをメモ리카ードに保存する。】

①同梱のメモリーカードリーダー・ライタをパソコンのUSBポートに接続します。



②メモ리카ードをメモリーカードリーダー・ライタにセットします。



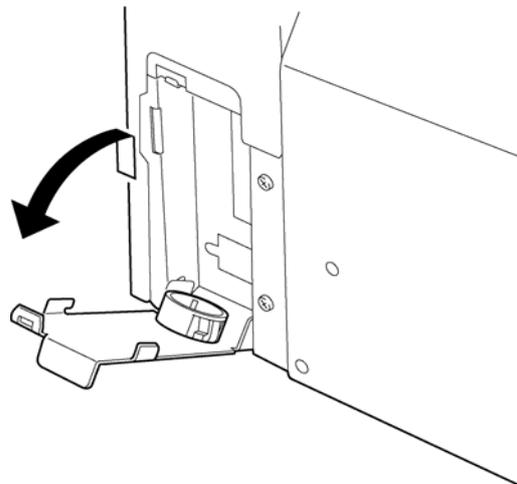
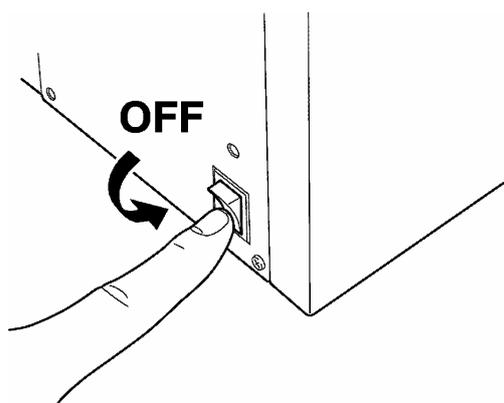
③パソコンで「楽らくラベル」を起動し、ラベルデータを作成します。

④「楽らくラベル」操作に従ってメモ리카ードにデータを書き込みます。

【データを書き込んだメモ리카ードを本体にセットします。】

①電源がOFFになっていることを確認します。

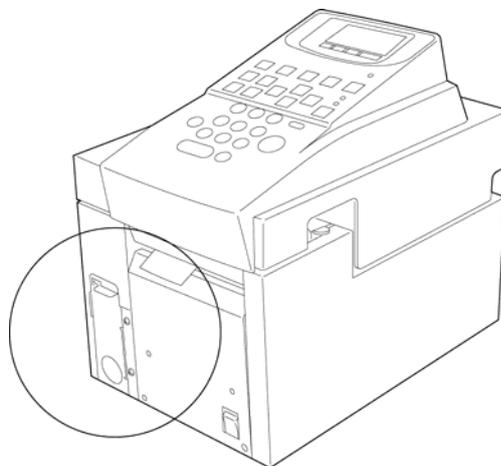
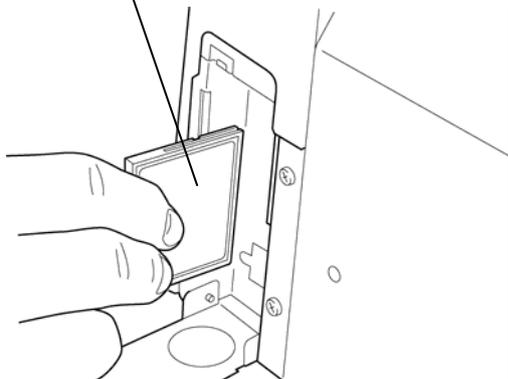
②本体前面のメモ리카ードカバーを開けます。



③ラベルデータを保存してあるメモ리카ードを、表を右側にして本体に装着します。

④本体前面のメモ리카ードカバーを閉じます。

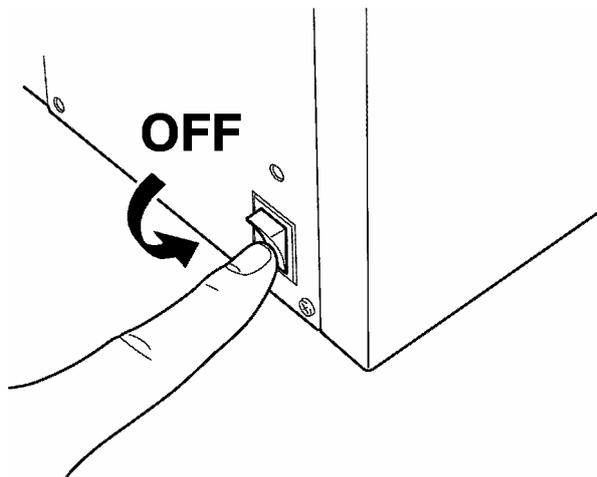
表側



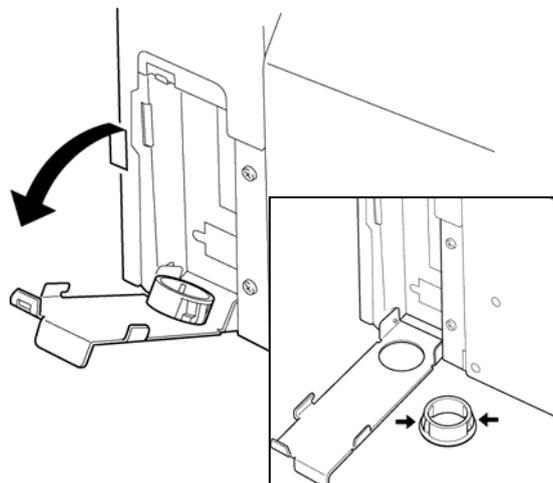
3.2. パソコンとの接続～パソコンのプリンタとして使う場合

📖 あらかじめ添付のCD-ROMで、アプリケーションソフト「楽らくラベル」およびLP-80プリンタドライバをインストールする必要があります。インストール、および操作方法は添付の「楽らくラベル・マニュアル」をご覧ください。

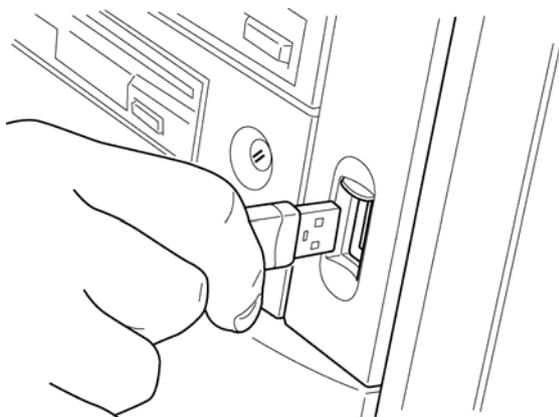
①電源をOFFにします。



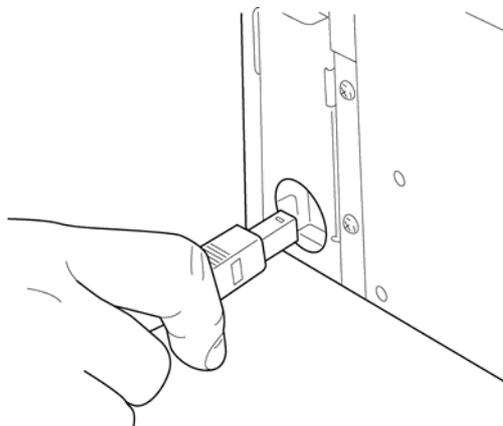
②コネクタカバーを少し上げて開けます。
USBポートカバーを内側から押して取り外します。



③パソコンにUSBケーブルを接続します。

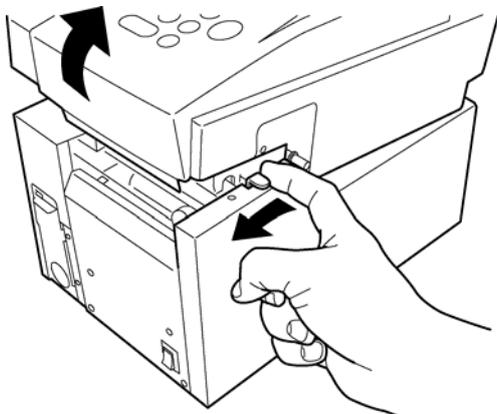


④コネクタカバーを閉め、開口部から本体にUSBケーブルを接続します。

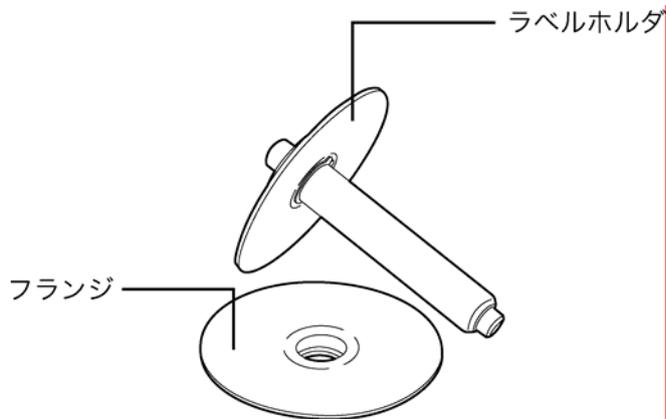


3.3. ラベルのセット

① ドアカバーを開けます。



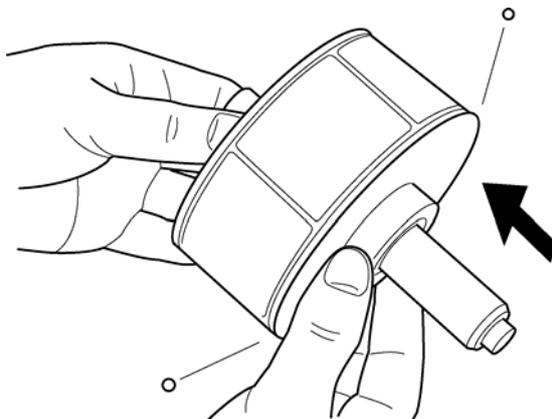
② ラベルホルダとフランジを取り出します。



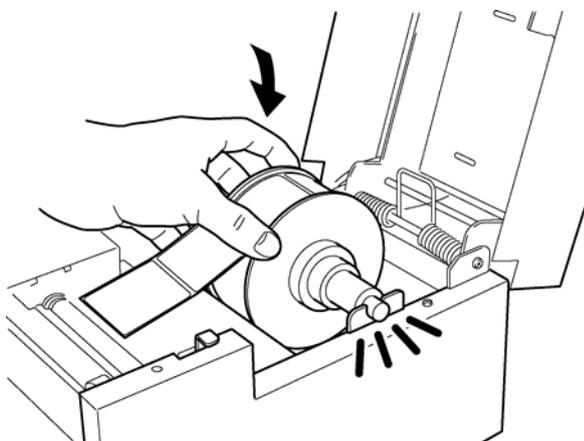
③ ラベルホルダにラベルを差込みます。



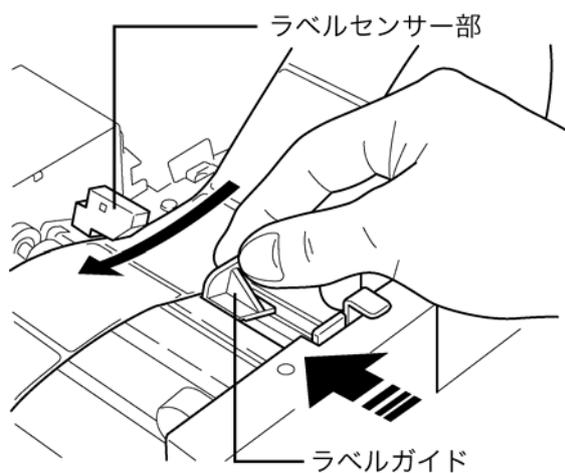
④ フランジを差込みラベルに当てつけます。



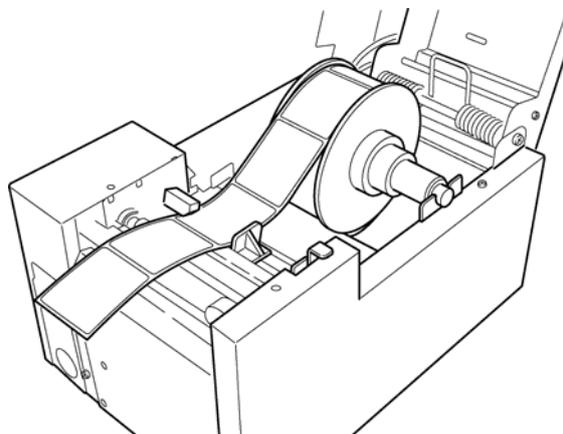
⑤ ラベルを本体にセットします。
ラベルホルダの軸が溝にはまるようにセットします。
※ このとき、フランジ側が出口から見て右側になるようセットしてください。



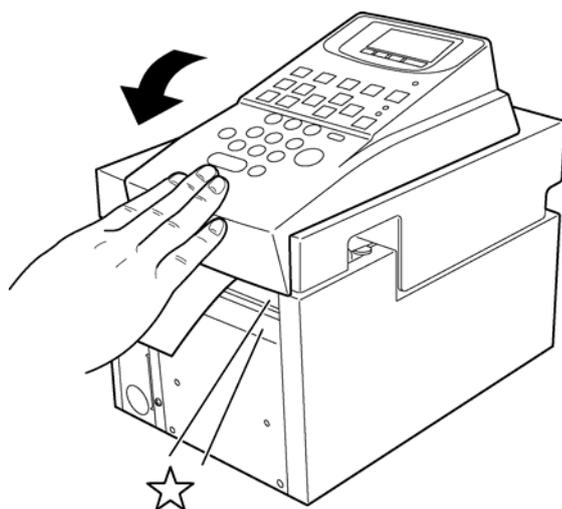
- ⑥ラベルはラベルセンサー部の下側を通るようにセットします。
その後、台紙にあわせてラベルガイドを寄せます。



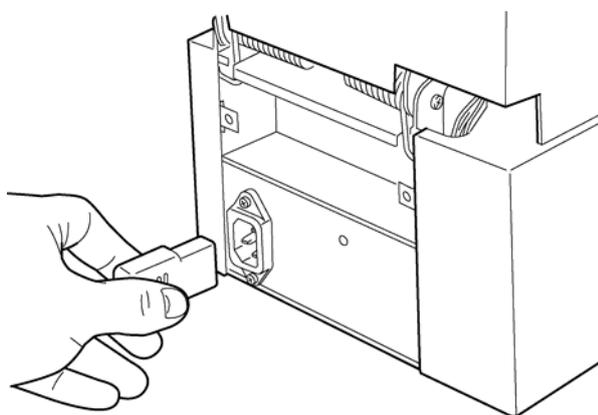
- ⑦下図のようにセットします。



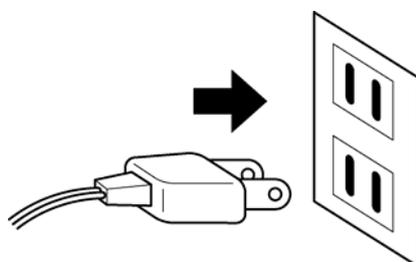
- ⑧パチンと音がするまでしっかりとドアカバーを閉めます。



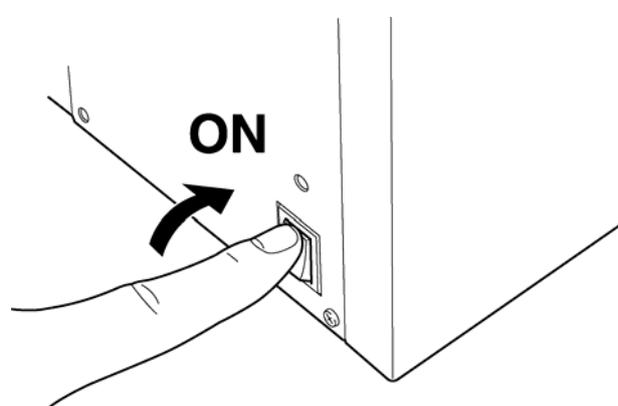
- ⑨電源ケーブルを本体に差込みます。



- ⑩電源プラグをコンセントに差込みます。



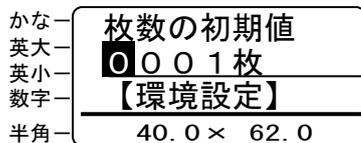
- ⑪電源スイッチをONにします。



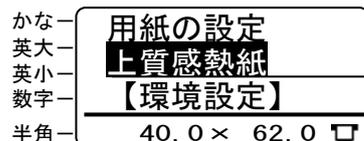
3.4. 用紙を設定する

(マックス標準用紙を使う場合)

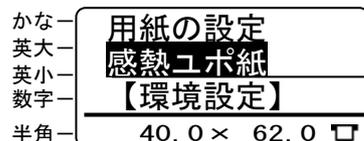
- ①用紙をセット後、「ファイル呼出」画面で
[環境] キーを押します。



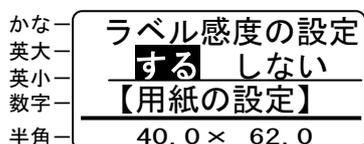
- ② [↓] キーを数回押して「用紙の設定」を表示
します。



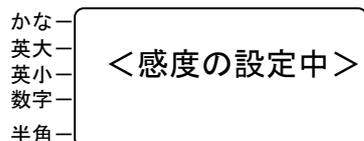
- ③ [←] キー (または [→] キー) セットする用
紙の種類を表示します。
ここでは「感熱ユボ紙」を選択し [確定] キー
を押します。



- ④「ラベル感度の設定」が表示されます。
[←] キーで「する」を反転表示し、[確定]
キー (または [発行] キー) を押します。

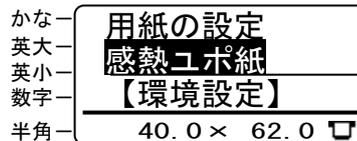


- ⑤ラベル紙が 170mm 程度送られ、センサ感度
の設定を行ないます。



- 📖 用紙をセットしていない場合は、エラーが表示さ
れます。
用紙をセットしてドアカバーを閉めると、センサ
感度の設定動作を開始します。

- ⑥感度設定後、③の画面に戻ります。

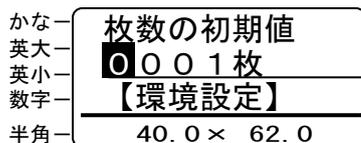


- ⑦ [取消] キーを押します。
ファイル呼出画面に戻ります。

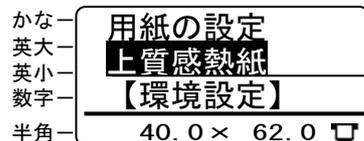
- 📖 上質感熱紙は、基材変更により設定が異なる場合
があります。
ラベルパッケージに、用紙設定に関する記載があ
る場合には、その指示に従って設定してください。

(マックス特注用紙を使う場合)

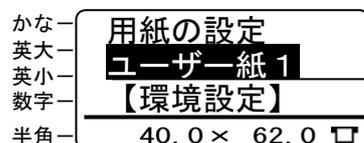
- ①用紙をセット後、「ファイル呼出」画面で
[環境] キーを押します。



- ② [↓] キーを数回押して「用紙の設定」を表示
します。

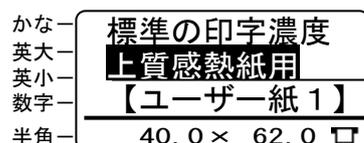


- ③ [←] キー（または [→] キー）を押して「ユ
ーザー1」を表示します。

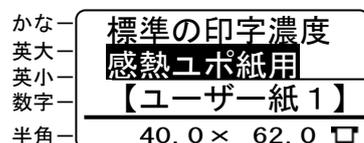


- 📖 ユーザー紙は1～3の3種類が設定できます。
- 📖 ユーザー紙は、弊社にて受注生産している特注用紙です。用紙や粘着剤の種類、プレ印刷などが可能です。詳しくは弊社営業所までお問い合わせください。

- ④ [確定] キーを押します。
「標準の印字濃度」が表示されます。

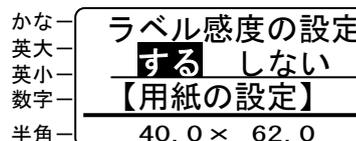


- ⑤ [←] キー（または [→] キー）を押して、「感
熱ユポ紙用」を表示し、[確定] キーを押しま
す。

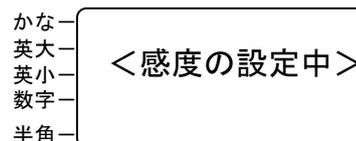


- 📖 「上質感熱紙用」「上質感熱紙A用」「光沢感熱紙用」「感熱ユポ紙用」の3種類が設定できます。

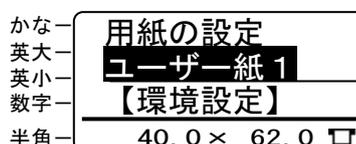
- ⑥ 「ラベル感度の設定」が表示されます。
[←] キーで「する」を反転表示し、[確定] キ
ー（または [発行] キー）を押します。



- ⑦ラベル紙が 170mm 程度送られ、センサ感度
の設定を行ないます。



- ⑧感度設定後、③の画面に戻ります。



- ⑨ [取消] キーを押します。
ファイル呼出画面に戻ります。

- 📖 上質感熱紙は、基材変更により設定が異なる場合があります。ラベルパッケージに、用紙設定に関する記載がある場合には、その指示に従って設定してください。

4. 印刷する（本体のみ）

登録されているラベルを呼び出して、指定枚数を印刷します。

4.1. ファイルを呼び出して印刷する （ファイル番号を指定して印刷する）

①メモリカードを本体に装着します。

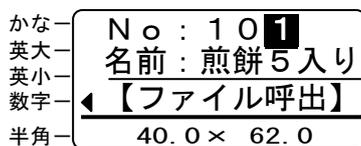
- ☞ メモリカードを抜き差しする場合は、必ず電源をOFFにしてください。データが壊れる場合があります。

②本体の電源をONにします。 ファイル呼出画面が表示されます。



- ☞ 電源投入時は、メモリカード内の一番小さいファイル番号と名前が表示されます。メモリカード内にファイルがない場合は「000」が表示されます。

③ [数字] キーでファイルNo.を入力し、[発行] キーを押します。 例) 「1」「0」「1」と入力します。

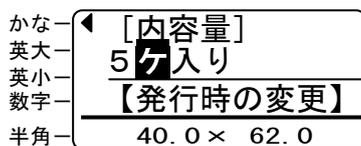


- ☞ [発行] キーの代わりに [確定] キーを押すとファイル名（名前）の確認ができます。確認後 [発行] キーを押します。



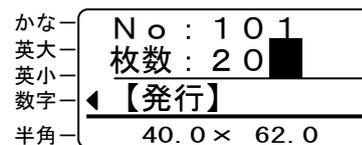
- ☞ 指定したファイルのラベルサイズが下欄に表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

④「発行時項目変更」を設定している入力項目がある場合は、入力画面が表示されます。必要項目を入力し、[発行] キーを押します。

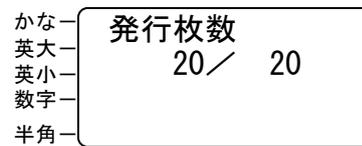
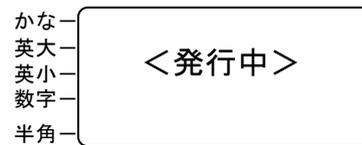


- ☞ 発行時項目変更の設定はパソコンソフト「楽らくラベル」で行ないます。本機では設定できません。
- ☞ 発行時設定項目が複数ある場合は、その個数分だけ表示されます。
- ☞ 発行時項目変更の設定が無い場合は、この操作はありません。

⑤ [数字] キーで発行枚数を入力し、[発行] キーを押します。 例) 「2」「0」と入力します。



⑥指定枚数分のラベルが発行されます。



- ☞ 電源投入時またはドアカバー開閉後は、ラベル長さが28mm以上のラベルの場合は先頭の1枚には印刷されません。
※ラベル長さが27mm以下のラベルの場合は先頭の2枚には印刷されません。
- ☞ 電源投入後、ドアカバーを閉じたまま2回目以降続けて印刷する場合、ラベル長さ27mm以下のラベルは、2枚がブランクになります。（印刷されません）
- ☞ 日付を印刷する場合は、楽らくラベル(パソコン)でラベルデータを作成する時に、時計オブジェクトを使って「印刷時の日時を使用する」-「加算時間を使用する」にチェックして作成します。
- ☞ 明日発行の分を先に印刷しておきたい場合などは、本体の日付を一時的に変更して出力することもできます。
（参照：本書23ページ「仮想カレンダーを使う」）
- ☞ 本体の設定によって、指定枚数ごとにカットすることもできます。
（参照：本書51ページ）

(スクロールしてファイルを選択し印刷する)

①メモ리카ードを本体に装着します。

- ☞ メモ리카ードを抜き差しする場合は、必ず電源をOFFにしてください。データが壊れる場合があります。

②本体の電源をONにします。
ファイル呼出画面が表示されます。

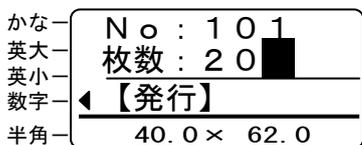
- ☞ 電源投入時は、メモ리카ード内の一番小さいファイル番号と名前が表示されます。

③ [↓] キー (または [↑] キー) を押して画面をスクロールし、印刷したいファイルを表示します。



- ☞ [↑]カーソルキーを押すごとに、メモリーカード内の前のファイル番号を表示します。また、[↓]カーソルキーを押すごとに、メモリーカード内の次のファイル番号を表示します。

- ☞ 指定したファイルのラベルサイズが表示されます。サイズにあったラベルをセットしてください。

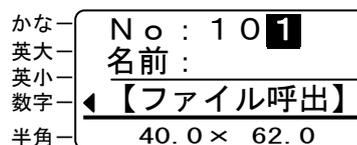
④ [発行] キーを押します。[数字] キーで発行枚数を入力し、[発行] キーを押します。
例) 「2」「0」と入力します。

- ☞ 発行時項目変更が設定されている項目や仮想カレンダーが設定されている場合は、設定に応じた項目が表示されます。

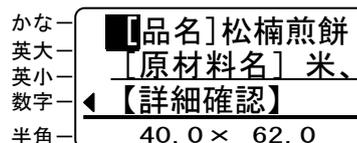
(参照：本書 24、26 ページ)

⑤指定枚数分のラベルが発行されます。

4.2. 呼び出すファイルの内容を確認する

①ファイル呼出画面で、[数字] キーでファイルNo.を入力します。
例) 「1」「0」「1」と入力します。

② [詳細確認] キーを押します。

③ [カーソル] キーで画面をスクロールして、ラベルの内容を確認します。
例) [↓] を2回押します。④ (ほかのファイル呼び出すとき)
[詳細確認] キーを再度押します。

(確認したファイルを発行するとき)

④に続いて [発行] キーを押します。

⑤ [数字] キーで発行枚数を入力し、[発行] キーを押します。
例) 「2」「0」と入力します。

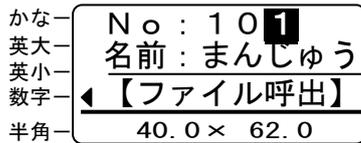
⑥指定枚数分のラベルが発行されます。

5. 日付を変更する

ラベルに印刷する日付の変更方法（仮想カレンダーの設定など）や、LP-80 本体の時計設定を説明しています。

5.1. 加算日付設定した時計オブジェクトのあるラベルを発行する

①印刷するラベルを呼び出し、[発行] キーを押します。



② [→] キー（または [←] キー）を押してカーソルを移動し、数値キーで日時を変更します。



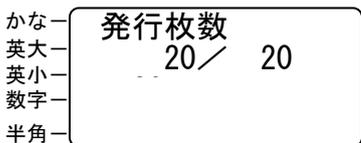
③ [発行] キーを押します。[数字] キーで発行枚数を入力し、[発行] キーを押します。
例) 「2」「0」と入力します。



④指定枚数分のラベルが発行されます。



⑤発行枚数確認画面が表示され、①の画面に戻ります。



📖 上記画面は、ラベルデータの中の「印刷時の時間を使用する」-「加算時間を使用する」に設定した時計オブジェクトがある場合にのみ表示されます。

📖 本機で時計オブジェクトの設定（印刷時の時間を使用する）を新たに設定することはできません。PC ソフト“楽らくラベル”で設定しなおしてください。

📖 仮想カレンダーの設定が「あり」のときは、表示されません。
⇒表示・変更したい場合は、次項の「仮想カレンダー」を「なし」に設定してください。

📖 発行したラベルのモニターデータは実際に発行した日に集計されます。

5.2. 仮想カレンダーを使う

明日の分の賞味期限の入ったラベルを今日印刷しておきたい場合など、一時的に本体の時計設定を変更したいときに設定します。

発行したラベルのモニタデータは実際に発行した日に集計されます。

(仮想カレンダーを一時的に設定する)

- ①「ファイル呼出」画面で[日付]キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 62.0

- ②「日付と時刻」モードになります。
「仮想カレンダー」を選択して、[確定] キーを押します。

かな	仮想カレンダー
英大	日時設定
英小	【日付と時刻】
数字	
半角	

- ③「あり」を選択して、[確定] キーを押します。

かな	仮想カレンダー設定
英大	あり なし
英小	【日付と時刻】
数字	
半角	

- 📖 仮想カレンダーの日時設定は、ラベルデータの中の「印刷時の時間を使用する」-「加算時間を使用する」に設定した時計オブジェクトすべてに対して有効となります。

(例)

製造日を「印刷時の時間を使用する」で、賞味期限を、「印刷時の時間を使用する」-「加算時間を使用する」で「3日」と設定している場合は、仮想カレンダーで翌日の日付にして印刷すると製造日は翌日の日付で、賞味期限は発行日当日から4日後の日付で印刷します。

- 📖 仮想カレンダーを「あり」にすると、「印刷時の時間を使用する」を設定している時計オブジェクトの発行時の変更（前項を参照ください）は、表示されなくなります。

(仮想カレンダーありを初期値として設定する)

電源ON時に必ず仮想カレンダーがONとなるよう設定します。

- ①「ファイル呼出」画面で[環境]キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 62.0

- ②「環境設定」モードになります。
[↑] を数回押して「仮想カレンダー初期値」を表示します。

かな	仮想カレンダー 初期値
英大	あり なし
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 62.0

- ③ [←] を押して「あり」を選択し、[確定] キーを押します。

かな	仮想カレンダー 初期値
英大	あり なし
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 62.0

- ④次項目の「用紙戻し」画面が表示されます。

[前画面] キーを押してファイル呼出画面に戻ります。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 62.0

(仮想カレンダーを設定したときの印刷)

①印刷するラベルを呼び出し、[発行] キーを押します。

かな	No : 10
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 62.0

② [→] キー (または [←] キー) を押してカーソルを移動し、数値キーで日時を変更します。

かな	2005/06/13
英大	14:15
英小	← 【仮想カレンダー】
数字	
半角	◎ 40.0 × 62.0

③ [発行] キーを押します。[数字] キーで発行枚数を入力し、[発行] キーを押します。
例) 「2」「0」と入力します。

かな	No : 101
英大	枚数 : 20
英小	← 【発行】
数字	
半角	40.0 × 62.0

④指定枚数分のラベルが発行されます。

かな	< 発行中 >
英大	
英小	
数字	
半角	

⑤発行枚数確認画面が表示され、①の画面に戻ります。

かな	発行枚数
英大	20 / 20
英小	
数字	
半角	

📖 上記画面は、ラベルデータの中の「印刷時の時間を使用する」に設定した時計オブジェクトに対して有効となります。

📖 仮想カレンダーの設定は電源 OFF まで、または仮想カレンダー設定で再度「なし」を設定するまで有効です。
※環境設定で(仮想カレンダー「あり」を初期値として設定する)を行なった場合を除きます。

📖 仮想カレンダーを電源 ON 時に常に有効とするには、前項の(仮想カレンダー「あり」を初期値として設定する)に従って設定してください。

5.3. 賞味期限を一時的に「枠外記載」などに変える

(日付を設定表現に変える)

- ①印刷するラベルを呼び出し、[発行] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 62.0

- ②この画面で [日付] キーを押します。

かな	「賞味期限」
英大	2004/11/01 09:15
英小	◀ 【発行時の変更】
数字	
半角	◎ 40.0 × 62.0

- ③ [→] キーを押して、「枠外に記載」を選び、[発行] キーを押します。

かな	日時 (0) →
英大	日時
英小	【時計表示変更】
数字	
半角	

- ③ [→] キーを押して、「枠外に記載」を選び、[発行] キーを押します。

かな	←日時 (1) →
英大	枠外に記載
英小	【時計表示変更】
数字	
半角	

- 📖 以下の文字列から選択できます。

日時 (0) : 時計表示のまま
 日時 (1) : 枠外に記載
 日時 (2) : 下部に記載
 日時 (3) : フタに記載
 日時 (4) : [ユーザー設定]
 ※ユーザー設定については 26 ページを参照ください。

- ④ [発行] キーを押します。

かな	「賞味期限」
英大	枠外に記載
英小	◀ 【発行時の変更】
数字	
半角	◎ 40.0 × 62.0

- ⑤ [数字] キーで発行枚数を入力し、[発行] キーを押します。
 例) 「2」「0」と入力します。

かな	No : 101
英大	枚数 : 20
英小	◀ 【発行】
数字	
半角	40.0 × 62.0

- ⑥指定枚数分のラベルが発行されます。

かな	<発行中>
英大	
英小	
数字	
半角	

- ⑦発行枚数確認画面が表示され、①の画面に戻ります。

かな	発行枚数
英大	20 / 20
英小	
数字	
半角	

- 📖 環境設定で「発行時の変更保存」を「する」にしている場合、次のラベル発行時も上記の文字が印刷されます。
 解除するには、上記操作③で「日時」を選択してください。

- 📖 加算時間を設定している時計オブジェクトでは、上記の「発行時の変更保存」を「する」に設定しても無効となります。(保存できません。)

(日付に一時表示する設定表現を登録する)

日時表示の変わりに表示・印刷する文字を登録します。

- ①「ファイル呼出」画面で[環境]キーを押します。



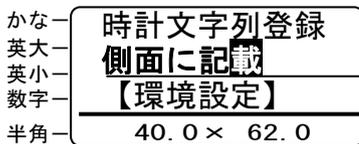
- ②「環境設定」モードになります。
[↑] を数回押して「時計文字列登録」を表示します。



- ② [←] を押して「編集する」を選び [確定] キーを押します。



- ③編集時と同様に文字を入力し、[確定] キーを押します。



📖 登録できる文字は1種類のみです。
全角・半角とも最大8文字までです。

- ④「リスト予約印刷」が表示されます。[前画面] キーを押してファイル呼出画面に戻ります。



5.4. 本体の時計を合わせる

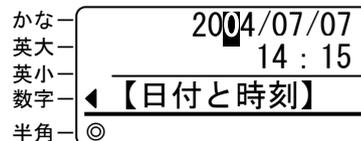
- ①「ファイル呼出」画面で[日付]キーを押します。



- ②「日付と時刻」モードになります。
[↓] キーを押して「日時設定」を選択して、[確定] キーを押します。



- ③「日付と時刻」モードになります。
正しい日時を数値キーで入力し、[確定] キーを押します。



📖 日付を変更するとモニターデータ(ファイル別日付別発行枚数データ)はすべて消去されます。

📖 モニターデータがある場合は、次の画面が表示されます。

「いいえ」を選択：

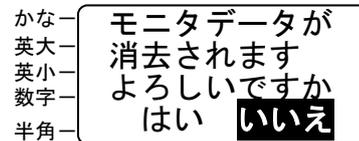
日時設定をキャンセルし①の画面に戻ります。モニターデータは残ります。

「はい」を選択：

日時設定を行ないます。

日付を変更した場合、モニターデータは消去されます。

モニターデータを残したい場合は、時刻のみを修正してください。



- ④日付が設定され、①の画面に戻ります。

6. 通し番号をつける

発行するラベルに通し番号を付けた場合の発行操作です。

この機能を使うには、PC ソフト“楽らくラベル”で、あらかじめラベルレイアウトに通し番号オブジェクトを作成しておく必要があります。

- ①「ファイル呼出」画面で通し番号オブジェクトをもったラベルを選びます。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ② [発行] キーを押します。

かな	No : 101
英大	開始 : 0001
英小	【通し番号入力】
数字	
半角	

- ③ 数値キーで開始番号を入力し、[発行] キーを押します。

かな	No : 101
英大	開始 : 0001
英小	【通し番号入力】
数字	
半角	

- ④ 数値キーで終了番号を入力し、[発行] キーを押します。

かな	No : 101
英大	終了 : 0100
英小	【通し番号入力】
数字	
半角	

- ⑤ 数値キーで枚数を入力し、[発行] キーを押します。

かな	No : 101
英大	枚数 : 1
英小	【発行】
数字	
半角	

- 📖 ここで設定する枚数は、1 番号あたりの枚数になります。2 枚に設定すると、各番号を 2 枚ずつ印刷します。

- ⑥ ラベルが発行されます。

かな	<発行中>
英大	
英小	
数字	
半角	

- 📖 印刷データを毎回生成しているため、印刷速度は遅くなります。(印刷時に待ち時間が生じます。)

- ⑥ 発行後、設定枚数に応じて、次の画面が数秒表示され、ファイル呼出画面に戻ります。

かな	発行枚数
英大	1 / 1
英小	
数字	
半角	

7. 複数のラベルをまとめて印刷する（予約印刷）

同じラベルサイズの、複数のラベルをまとめて印刷することができます。予約ファイルは M0～M9 まで 10 個まで登録できます。各予約ファイルは最大 20 ラベルまで登録可能です。

7.1. ファイルを予約登録する

①ファイル呼出画面で [編集] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

📖 [変換/空白] を押すと予約登録ファイルの先頭にジャンプします。

② [↓] キーで「予約登録」を選択し [確定] キーを押します。

かな	品目情報の変更
英大	予約登録
英小	← 【編集】
数字	
半角	

③「作成/編集」を選択し [確定] キーを押します。

かな	作成/編集
英大	コピー
英小	【予約登録】
数字	
半角	

④「M0」を選び [確定] キーを押します。

かな	M0 : █████
英大	M1 : █████
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

⑤まとめて印刷するファイルのファイル番号を数値キーで指定し、[確定] キーを押します。

かな	01 : 101
英大	02 : ---
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

⑥名前を確認し、[確定] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	【予約】
数字	
半角	

📖 この画面で、[↑][↓] キーでスクロールさせてファイルを選択することもできます。

⑦数値キーで発行枚数を指定し、[確定] キーを押します。

かな	No : 101
英大	枚数 : 1
英小	【予約】
数字	
半角	

⑧次の、ファイルのファイル番号を数値キーで指定し、[確定] キーを押します。

かな	01 : 101
英大	02 : 201
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

⑨ 予約するファイルの数だけ⑥⑦の操作を繰り返します。指定し終わったら [変換/空白] キーを押します。

かな	05 : 205
英大	06 : ---
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

⑩ [確定] キーを押します。

かな	05 : 205
英大	予約の終了
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

📖 異なるラベルサイズのファイルを予約すると、ここで注意メッセージが表示されます。

そのまま続ける場合：「予約する」を選びます。
修正する場合：「戻る」を選びます。

⑨に戻るので指定しなおります。

⑪ファイル名を入力し [確定] キーを押します。

かな	← ファイル名入力
英大	松楠商事
英小	【予約ファイル】
数字	
半角	

⑫ファイル呼出画面に戻ります。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

7.2. 予約ファイルを呼出し印刷する

- ①ファイル呼出画面で [変換/空白] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ② [↓] キーで印刷する予約ファイルを呼び出し [発行] キーを押します。

かな	No : M00
英大	名前 : 松楠商事
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ③ラベルが発行されます。

かな	<発行中>
英大	05 / 05 予約
英小	
数字	
半角	

≪予約印刷の制約事項≫

- 📖 印刷データをラベルごとに生成しているため、印刷速度は遅くなります。(印刷時に待ち時間が生じます。)
- 📖 予約印刷時には、発行時変更は無効となります。
- 📖 仮想カレンダーは予約印刷で最初に印刷されるファイルでのみ設定可能です。2ファイル目以降は、最初に設定した仮想カレンダーの日付で印刷されます。
- 📖 予約印刷できる枚数は、合計5000枚までです。(5000枚の印刷を行なうときは別売のフィーダで大容量ラベル紙を使う必要があります。)
- 📖 リスト予約印刷機能との併用はできません。

7.3. 予約ファイルを削除する

- ①ファイル呼出画面で [編集] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ② [↓] キーで「予約登録」を選択し [確定] キーを押します。

かな	品目情報の変更
英大	予約登録
英小	◀ 【編集】 ▼
数字	
半角	

- ③「作成/編集」を選択し [確定] キーを押します。

かな	作成 / 編集
英大	コピー
英小	【予約登録】
数字	
半角	

- ④ [↑] [↓] キーで削除するファイル名を選び、 [削除] キーを押します。

かな	M0 : 松楠商事 ▲
英大	M1 : 箱崎商店 ▼
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

- ⑤「はい」を選択し、 [確定] キーを押します。

かな	削除しますか?
英大	はい いいえ
英小	【予約の削除】
数字	
半角	

- ⑥確認メッセージ表示後、ファイル呼出画面に戻ります。

7.4. 予約ファイルを修正する

①ファイル呼出画面で [変換/空白] キーを押します。

② [↓] キーで編集する予約ファイル呼び出し [確定] キーを押します。

かな	No : M00
英大	名前 : 松楠商事
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

③変更したいファイルのファイル番号を数値キーで指定し、[確定] キーを押します。

かな	01 : 101	▲
英大	02 : 201	▼
英小	【ファイル予約】	
数字		
半角		

④名前を確認し、[確定] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	【予約】
数字	
半角	

📖 ファイルを差し替えるときは、ファイル番号を入力してここで指定します。
差し替えファイルの呼出しは [↑] [↓] キーでもできます。

⑤数値キーで発行枚数を指定し、[確定] キーを押します。

かな	No : 101
英大	枚数 : 5
英小	【予約】
数字	
半角	

⑥ ③～⑤を繰り返し、選択ファイルと順序、枚数を修正します。
修正が終わったら、[変換/空白] キーを押します。

⑦「予約の終了」を選び、[確定] キーを押します。

かな	05 : 205	▲
英大	予約の終了	▼
英小	【ファイル予約】	
数字		
半角		

⑪ファイル名を確認し [確定] キーを押します。

かな	ファイル名入力
英大	松楠商事
英小	【予約ファイル】
数字	
半角	

⑫ファイル呼出画面に戻ります。

7.5. 予約ファイルをコピーする

①ファイル呼出画面で[編集]キーを押します。

かな	N o : 1 0 1
英大	名前 : まんじゅう
英小	【ファイル呼出】
数字	◀
半角	40.0 × 62.0

📖 [変換/空白]を押すと予約登録ファイルの先頭にジャンプします。

②[↓]キーで「予約登録」を選択し[確定]キーを押します。

かな	品目情報の変更
英大	予約登録
英小	【編集】
数字	◀
半角	▼

③「コピー」を選択し[確定]キーを押します。

かな	作成/編集
英大	コピー
英小	【予約登録】
数字	
半角	

④コピーする予約ファイルを選び、[確定]キーを押します。

かな	N o : M 0
英大	名前 : 松楠商事
英小	【コピー元】
数字	
半角	

⑤コピー先とする予約ファイル番号を選び、[確定]キーを押します。

かな	N o : M 1
英大	名前 :
英小	【コピー先】
数字	
半角	

⑥ファイル名を入力し[確定]キーを押します。

かな	◀ ファイル名入力
英大	箱崎商店
英小	【予約ファイル】
数字	
半角	

⑦確認メッセージが数秒表示され、予約登録画面に戻ります。

かな	M 0 → M 1
英大	コピーしました
英小	
数字	
半角	

⑧「作成/編集」を選びます。

かな	作成/編集
英大	コピー
英小	【予約登録】
数字	
半角	

⑨[↑][↓]キーでコピーしたファイル名を選び、[確定]キーを押します。

かな	M 0 : 松楠商事 ▲
英大	M 1 : 箱崎商店 ▼
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

⑩「7.4 予約ファイルを修正する」手順③以降に従って、修正します。

8. リストデータの予約印刷

リンクした複数のリストデータをまとめて印刷することができます。予約ファイルは M0～M9 まで 10 個まで登録できます。各予約ファイルは最大 20 ラベルまで登録可能です。

お得意先様向けの宛名ラベルなどのご使用いただけます。

8.1. リスト予約印刷を可能にする

①ファイル呼出画面で [環境] キーを押します。

かな	No : 900
英大	名前 : 宛名01
英小	← 【ファイル呼出】
数字	55.0 × 50.0
半角	

② [↑] キーを3回 (LP-80T は4回) 押して、「リスト予約印刷」を選択し [確定] キーを押します。

かな	リスト予約印刷
英大	する しない
英小	← 【環境設定】
数字	
半角	

③ [←] キーを、「する」を選択し [確定] キーを押します。

かな	リスト予約印刷
英大	する しない
英小	← 【環境設定】
数字	
半角	

④ [取消] キーを押してファイル呼出画面に戻ります。

かな	仮想カッパ 初期値
英大	あり なし
英小	← 【環境設定】
数字	
半角	

⑤ファイル呼出画面に戻ります。

📖 「リスト予約印刷」機能を「する」に設定すると、リストデータがリンクされているラベルの発行時には必ず設定した予約印刷通りに印刷されます。

📖 選択されたリストデータのみでの印刷をする場合は、「リスト予約印刷」機能を「しない」に設定してください。

8.2. リストデータを予約する

① “楽らくラベル” でリストを関連付けたラベルレイアウトを作成します。

②CFにデータを書き出し、本機にセットします。

📖 “楽らくラベル” の使いかたについては、PC 上で (スタート) - (プログラム) - (楽らくラベル) - 「楽らくラベル取説」を開き、参照してください。

③ファイル呼出画面で [編集] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

③ [↓] キーで「リストの予約」を選択し [確定] キーを押します。

かな	リストの修正
英大	リストの予約
英小	← 【編集】 ▼
数字	40.0 × 62.0
半角	

④ [↑] [↓] キーまたは数値キーでリスト予約するファイルNo.を表示し、[確定] キーを押します。

かな	No : 900
英大	名前 : 宛名01
英小	← 【ファイル呼出】
数字	55.0 × 50.0
半角	

📖 呼び出すファイルは、“楽らくラベル” でリンク付けされたリストが設定されている必要があります。無い場合は、「このファイルに関連付けたリストがありません」と表示されます。

⑤ 「01」を選び [確定] キーを押します。

かな	01 : ■----
英大	02 : ----- ▼
英小	← 【ファイル予約】
数字	
半角	

- ⑥1行目にリストデータの番号が、2行目にデータの先頭が表示されます。1番目に予約印刷するリストデータの番号を[↑][↓]キーまたは数値キーで指定し、[確定]キーを押します。

かな	リンク : 0001
英大	103 - 8502
英小	【リストの予約】
数字	
半角	

- ⑦選択したデータの発行枚数を入力し、[確定]キーを押します。

かな	リンク : 0001
英大	枚数 : 1
英小	【リストの予約】
数字	
半角	

- ⑧「01」を選び[確定]キーを押します。

かな	01 : 0001
英大	02 : ----- ▼
英小	【リストの予約】
数字	
半角	

- ⑨[↓]キーを押して「02」を選び、⑤～⑧と同様にして2番目に印刷するデータを選択します。同様にして印刷するデータを設定します。

かな	02 : ■----- ▲
英大	03 : ■----- ▼
英小	【ファイル予約】
数字	
半角	

- ⑩「02」を選び、⑤～⑧と同様にして2番目に印刷するデータを選択します。

- ⑪すべて指定し終わったら、[空白/変換]キーを押します。

かな	05 : 0010 ▲
英大	06 : ■----- ▼
英小	【リストの予約】
数字	
半角	

- ⑫「予約の終了」を選択し、[確定]キーを押します。

かな	05 : 0001 ▲
英大	予約の終了
英小	【リストの予約】
数字	
半角	

- ⑬③の画面に戻ります。続けて[取消]キーを押してファイル呼出画面に戻ります。

8.3. リスト予約したファイルを印刷する

- ①ファイル呼出画面で、[↑][↓]キーまたは数値キーを押して、リスト予約したファイルを呼出します。

かな	No : 900
英大	名前 : 宛名01
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	
半角	55.0 × 50.0

- ②[発行]キーを押します。ラベルが発行されます。

かな	<発行中>
英大	01 / 05 予約
英小	
数字	
半角	

《リスト予約印刷の制約事項》

- 📖 印刷データをラベルごとに生成しているため、印刷速度は遅くなります。(印刷時に待ち時間が生じます。)
- 📖 仮想カレンダーは予約印刷で最初に印刷されるファイルでのみ設定可能です。2ファイル目以降は、最初に設定した仮想カレンダーの日付で印刷されます。
- 📖 リスト予約印刷できる枚数は、合計5000枚までです。
(5000枚の印刷を行なうときは別売のフィーダで大容量ラベル紙を使う必要があります。)
- 📖 予約印刷機能との併用はできません。

8.4. リスト予約を修正する

①ファイル呼出画面で[編集]キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

③ [↓] キーで「リストの予約」を選択し[確定]キーを押します。

かな	リストの修正
英大	リストの予約
英小	← 【編集】
数字	40.0 × 62.0
半角	

④ [↑] [↓] キーまたは数値キーでリスト予約を修正するファイルNo.を表示し、[確定]キーを押します。

かな	No : 900
英大	名前 : 宛名01
英小	← 【ファイル呼出】
数字	55.0 × 50.0
半角	

📖 呼び出すファイルは、“楽らくラベル”でリンク付けされたリストが設定されている必要があります。無い場合は、「このファイルに関連付けたリストがありません」と表示されます。

⑤ [↑] [↓] キーを押して、修正するリストデータを選び[確定]キーを押します。

かな	01 : 0001
英大	02 : 0005 ▼
英小	← 【ファイル予約】
数字	
半角	

📖 削除したい場合は、この画面で削除するデータにあわせて[停止/削除]キーを押すと削除されます。また、途中が「----」になる場合は、印刷時はその番号を指定なしとして飛ばして印刷します。

⑥1行目にリストデータの番号が、2行目にデータの先頭が表示されます。1番目に予約印刷するリストデータの番号を[↑] [↓] キーまたは数値キーで指定し、[確定]キーを押します。

かな	リンク : 0003
英大	370 - 1117
英小	← 【リストの予約】
数字	
半角	

⑦選択したデータの発行枚数を入力し、[確定]キーを押します。

かな	リンク : 0003
英大	枚数 : 1
英小	← 【リストの予約】
数字	
半角	

⑧他に修正する番号を選び、⑤~⑦と同様にしてデータを修正します。

⑩すべて修正し終わったら、[空白/変換]キーを押します。

かな	05 : 0001
英大	06 : ---- ▼
英小	← 【リストの予約】
数字	
半角	

⑫「予約の終了」を選択し、[確定]キーを押します。

かな	05 : 0001 ▲
英大	予約の終了
英小	← 【リストの予約】
数字	
半角	

⑬③の画面に戻ります。続けて[取消]キーを押してファイル呼出画面に戻ります。

9. ラベルの情報を修正する（編集モード）

本機だけでも簡単なラベルデータの修正が行なえます。

9.1. 修正についての制約事項【重要】

本機では明瞭な印字を実現するため、スタンドアロン機としてご使用になる場合、印字に使用するフォント（書体）は本機に搭載したビットマップフォントを使って印字しています。

そのため、本機内でのラベルデータの修正は、レイアウトされた枠内での文字の修正などに制限されます。

修正は編集モードでのみ行なえます。

📖 編集モードの操作方法は本書 9.3 以降を参照してください。

（修正できる項目）

- 1) 文字
- 2) JAN コード/ITF コード
- 3) インスタマーキングコード
- 4) 社名などのリストデータの入れ替え

（修正できない項目）

- 1) 文字サイズ
- 2) 表や罫線の変更
- 3) 画像データ（ロゴ、マークなど）の変更
- 4) ラベルサイズの変更

📖 大幅なレイアウトの修正、変更を行なう場合は、添付のパソコン用ソフト「楽らくラベル」にて行なってください。

9.2. 文字入力の基本操作

（入力モードの切り替え）

- ① [編集] キーを押して、編集するファイルを「確定」キーを押して選択します。
- ② [入力] キーを押します。画面左のインジケータが切り替わります。入力モードに応じてキーを押したときに入力できる文字種が変わります。



切り替わる順序：

かな→英大→英小→数字→かな

かな：かなめくり入力

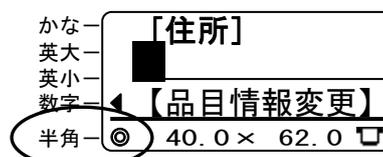
英大：アルファベット大文字

英小：アルファベット小文字

数字：数字

（半角・全角の切り替え）

- ① [編集] キーを押して、編集するファイルを「確定」キーを押して選択します。
- ② [半角・全角] キー（[シフト] キーを押しながら[日付]キーを押下）を押します。画面左のインジケータが切り替わります。入力モードに応じてキーを押したときに入力できる文字種が変わります。



📖 半角インジケータが点灯しているときは、入力モードそれぞれで入力できる文字は次のとおりとなります。

📖 《半角で入力できる文字》

英大：半角アルファベット大文字

英小：半角アルファベット小文字

数字：半角数字

📖 半角カタカナは漢字変換で入力できます。変換候補の中にあります。

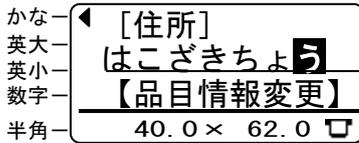
(ひらがな)

「はこざきちょう」と入力してみます。

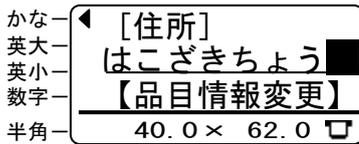
- ① [入力] キーを押して「かな」入力モードにします。



- ② [6は] キーを1回押します。
 ③ [2か] キーを5回押します。
 ④ [3さ] キーを1回押します。
 つづけて、「記号」キーを1回押します。
 ⑤ [2か] キーを2回押します。
 ⑥ [4た] キーを2回押します。
 ⑦ [シフト] キーを押しながら、[8や]キーを1回押し、[8や]キーを2回押します。
 ⑧ [1あ] キーを3回押します。



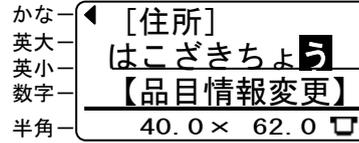
- ⑨ [確定] キーを押します。
 ⑩文字が確定し、入力されます。



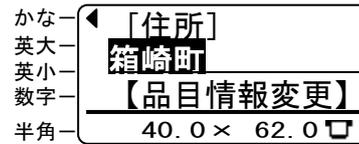
(漢字変換)

「箱崎町」と入力してみます。

- ①左のひらがな入力の手順⑧まで、同じように入力します。



- ② [変換/空白] キーを押します。



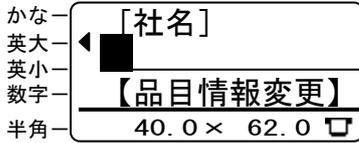
- ③ [確定] キーを押します。
 文字が確定し、入力されます。



(英 大文字入力～全角)

「MAX」(全角) と入力してみます。

- ① [入力] キーを押して「英大」入力モードにします。



- ② [6MNO] キーを1回押します。
 ③ [2ABC] キーを1回押します。
 ④ [9WXYZ] キーを2回押します。



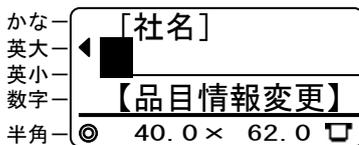
(英 大文字入力～半角)

「MAX」(半角) と入力してみます。

- ① [入力] キーを押して「英大」入力モードにします。



- ② [全角・半角] キー ([シフト] を押しながら [日付] キーを押下) を押します。
 画面左下に◎のインジケータが点灯します。



- ③ [6MNO] キーを1回押します。
 ④ [2ABC] キーを1回押します。
 ⑤ [9WXYZ] キーを2回押します。

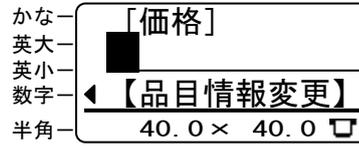


📖 全角に戻すには、再度[全角・半角]キーを押します。

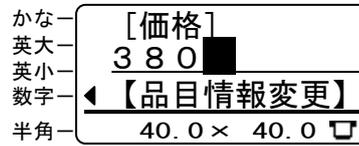
(数字入力)

品目情報変更画面で、「380」(全角) と入力してみます。

- ① [入力] キーを押して「数字」入力モードにします。



- ② [3さ] キーを1回押します。
 ③ [8や] キーを1回押します。
 ④ [0わをん] キーを1回押します。

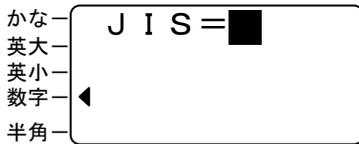


📖 数字は直接入力されます。

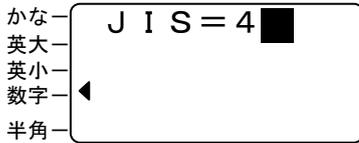
(JISコード入力)

「鮪」を入力してみます。

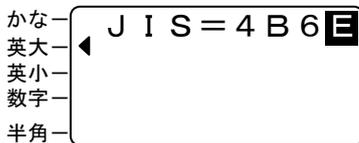
- ① [シフト] キーを押しながら、[JIS/記号] キーを押します。



- ② 付録のJISコード表から「鮪」のJISコードを調べます。JISコードは「4B6E」です。[4た]を1回押します。



- ③ [入力] キーを押し[英大]入力モードにして、[2ABC]を2回押します。
 ④ [入力] キーを押し[数字]入力モードにして、[6は]を1回押します。
 ⑤ [入力] キーを押し[英大]入力モードにして、[3DEF]を2回押します。



- ⑥ [確定] キーを押します。文字が確定し、入力されます。



(記号入力)

「。」を入力してみます。

- ① 次の画面で [JIS/記号] キーを押します。



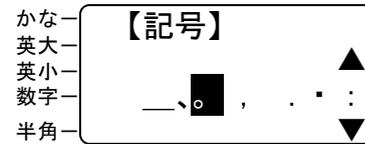
- ② カーソルキー (↑ ↓ ← →) で、「記号」を選択し「確定」キーを押します。



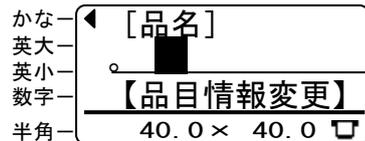
- ③ [→] キーを押して「。」を選択します。



- ④ [確定] キーを押します。



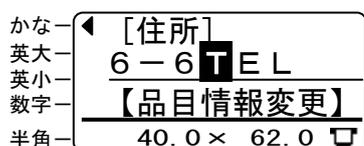
- ⑤ 文字が確定し、入力されます。



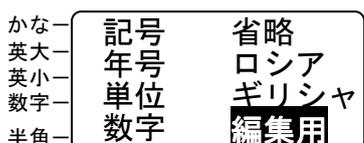
(編集用記号入力)

改行を入力してみます。

①次の画面で [JIS/記号] キーを押します。



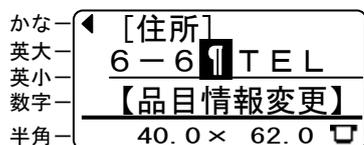
②カーソルキー (↑ ↓ ← →) で、「編集用」を選択し「確定」キーを押します。



③[→]キーを押して「¶」を選択し、[確定] キーを押します。



④編集用記号が確定し、入力されます。



- 📖 編集用記号は印刷されません。
- 📖 文字枠の大きさを超えて入力された行などは印刷されません。
- 📖 編集記号の意味は下表のとおりです。

記号	意味	印刷結果
¶	改行	東京都中央区日本橋 ¶ TEL 03-3669-8108
▬	アタ-ライ	PE、PP
上	上付文字	cm ²
下	下付文字	ビタミンB ₂

編集用記号を入力する場合の制約事項

- 📖 アンダーライン、上付文字、下付文字の編集用記号は、装飾する文字列をはさんで2個対で入力します。
例) 「PE、PP」と印刷する場合
- 
- 📖 アンダーラインは、上付文字設定、下付文字設定、改行マークを含んで設定できます。
 - 📖 上付文字、下付文字は数字にのみ設定できます。
 - 📖 上付文字、下付文字は、書体をTBゴシックRに設定している文字枠のみに有効です。
POP-A など他の書体に設定している場合は、設定は無視して印刷されます。

9.3. 文字情報を修正する

本機では、パソコン上での設定により特定のテキストボックスの文字情報を修正できます。

📖 楽らくラベル上でオブジェクトの「名称を付ける」をチェックしていない項目は編集できません。(チェックしなければ編集対象外にできます。)

📖 テキストボックスの大きさは変わりませんので、同じ文字数もしくはテキストボックスの大きさに収まる範囲で文字を差し替えてください。

① 変更するラベルの番号を入力し、[確定] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 62.0

② ラベル名を確認し [編集] キーを押します。

かな	品目情報変更
英大	予約登録
英小	◀ 【編集】 ▼
数字	
半角	40.0 × 62.0

③ 「品目情報変更」を選択し [確定] キーを押します。変更可能なテキストボックスのうち先頭のもの(左上に近いもの)が表示されます。

かな	◀ 【名称】
英大	生菓子
英小	【品目情報変更】
数字	
半角	40.0 × 62.0

④ [確定] キーを押して変更したいテキストボックスまで移動します。

📖 行き過ぎたときは[シフト]キーを押しながら[取消]キーを押します。

かな	◀ 【内容量】
英大	20個
英小	【品目情報変更】
数字	
半角	40.0 × 62.0

⑤ 「20個」を「15個」に変更してみます。
[入力] キーを押し、数字入力モードにして「1」「5」と入力します。
「15」が挿入されます。

かな	【内容量】
英大	1520個
英小	◀ 【品目情報変更】
数字	
半角	40.0 × 62.0

⑥ [削除] キーを押して「20」を削除します。

かな	【内容量】
英大	15個
英小	◀ 【品目情報変更】
数字	
半角	40.0 × 62.0

⑦ [確定] キーを押します。次の項目に変わります。
ほかに変更がなければ、[確定] キーを数回押します。

かな	◀ 保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	【品目情報変更】
数字	
半角	40.0 × 62.0

⑧ カーソルキーで「テスト発行」を選択し、[確定] キーを押します。修正した内容で2枚プリントします。

かな	◀ 保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	【品目情報変更】
数字	
半角	40.0 × 62.0

⑨ テスト印刷結果がよければ、カーソルキーで「保存」を選択し、[確定] キーを押して保存します。

かな	◀ 保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	【品目情報変更】
数字	
半角	40.0 × 62.0

⑩ 保存する番号を入力し [確定] キーを押します。別名で保存する場合は使っていない番号を入力します。
ここでは「103」と入力します。

かな	No : 103
英大	名前 : まんじゅう
英小	◀ 【保存ファイル】
数字	
半角	40.0 × 62.0

⑪ 変更内容を保存する場合は「はい」を選択して [確定] キーを押します。保存しない場合はカーソルキーで「いいえ」を選択し、[確定] キーを押します。

かな	保存しますか?
英大	はい いいえ
英小	◀ 【品目情報保存】
数字	
半角	40.0 × 62.0

ラベルの情報を修正する

- 📖 すでに登録されている番号を入力すると上書き確認画面が表示されます。
「はい」を選択 : 上書きします。
「いいえ」を選択 : ⑦の画面に戻ります。

かな	上書きしますか？
英大	はい いいえ
英小	【品目情報保存】
数字	◀
半角	40.0 × 62.0

- ⑫保存が終了し、⑦の画面に戻ります。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	【品目情報変更】
数字	◀
半角	40.0 × 62.0

- ⑬[取消]キーを押します。ファイル呼出画面に戻ります。

かな	No : 1 01
英大	名前 : まんじゅう
英小	【ファイル呼出】
数字	◀
半角	40.0 × 62.0

- 📖 「再編集」を選択して[確定]キーを押すと③の画面（先頭項目の編集画面）に戻ります。
再度、追加修正したい場合に使います。
- 📖 「保存」を選択していない修正は、編集モードを抜けるとクリアされます。
- 📖 画面右下に （テスト印刷インジケータ）が表示されている画面では、[テスト印刷]キーを押すと2枚テスト印刷ができます。
修正内容の確認にご使用ください。

9.4. バーコードを修正する

- ①変更するラベルの番号を入力し、[確定] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじゅう
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ②ラベル名を確認し [編集] キーを押します。

かな	品目情報変更
英大	予約登録
英小	← 【編集】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ③「品目情報変更」を選択し [確定] キーを押します。変更可能なテキストボックスまたはバーコードのうち先頭のもの（左上に近いもの）が表示されます。

かな	← 【名称】
英大	生菓子
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ④ [確定] キーを押して変更したいバーコードまで移動します。

- 📖 行き過ぎたときは[シフト]キーを押しながら[取消]キーを押します。

かな	← 【バーコード】
英大	C123456789012
英小	← 【品目情報変更】
数字	◎ 40.0 × 62.0
半角	

- ⑤「012」を「987」に変更してみます。「9」「8」「7」と入力します。「987」に置き替わります。

かな	← 【バーコード】
英大	987456789012
英小	← 【品目情報変更】
数字	◎ 40.0 × 62.0
半角	

- ⑥ [確定] キーを押します。次の項目に変わります。ほかに変更がなければ、[確定] キーを数回押します。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 編集
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑦カーソルキーで「テスト発行」を選択し、[確定] キーを押します。修正した内容で2枚プリントします。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑧テスト印刷結果がよければ、カーソルキーで「保存」を選択し[確定]キーを押します。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑨保存する番号を入力し [確定] キーを押します。別名で保存する場合は使っていない番号を入力します。ここでは「103」と入力します。

かな	No : 103
英大	名前 : まんじ20
英小	← 【保存ファイル】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- 📖 すでに登録されている番号を入力すると上書き確認画面が表示されます。

「はい」を選択 : 上書きします。

「いいえ」を選択 : ⑥の画面に戻ります。

かな	上書きしますか?
英大	はい いいえ
英小	← 【品目情報保存】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑩保存が終了し、⑥の画面に戻ります。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑪[取消]キーを押します。ファイル呼出画面に戻ります。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじ20
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

ラベルの情報を修正する

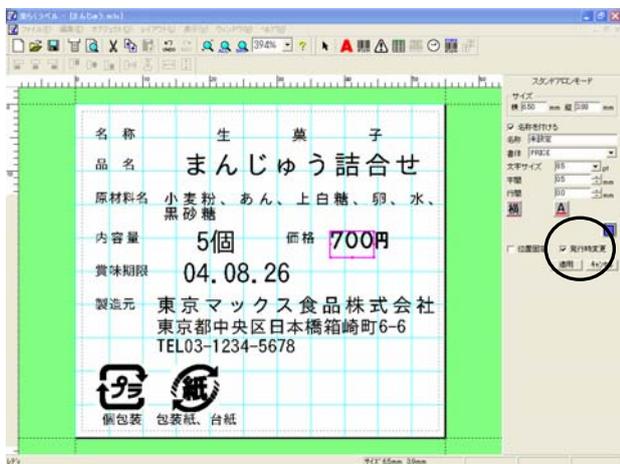
9.5. インストアマーキング用バーコードを修正する

あらかじめ PC ソフト「楽らくラベル」で他の項目（価格表示など）と連動させておく方法と、本機でコード自体を修正する方法 2 種があります。

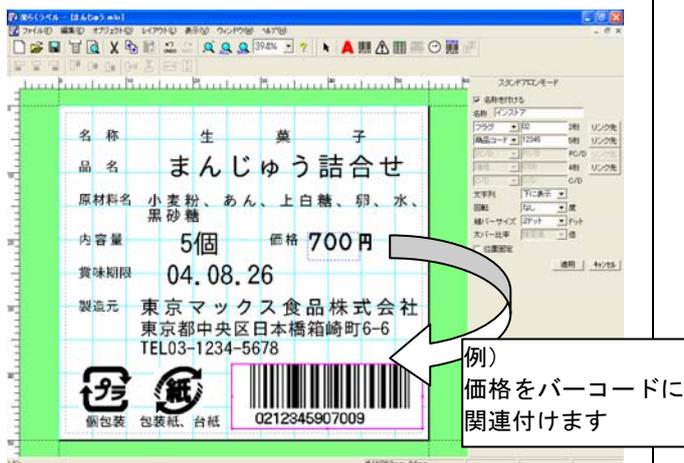
（他の項目と連動させておく場合）

あらかじめ PC ソフト「楽らくラベル」で次の設定を行なっておきます。

- ①価格を入力している文字枠のプロパティで、「発行時変更」にチェックを入れます。



- ②インストアマーキングのバーコードオブジェクトを作成し、価格の文字枠とリンクさせておきます。



- ③CF への書き出しで、LP-80 用データを作成します。
- ④CF を本体にセットし、印刷します。

📖 ラベルの発行については、24 ページを参照してください。

(本機でコードを修正する場合)

- ① 変更するラベルの番号を入力し、[確定] キーを押します。

かな	No : 101
英大	名前 : まんじ 20
英小	← 【ファイル呼出】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ② ラベル名を確認し [編集] キーを押します。

かな	品目情報変更
英大	予約登録
英小	← 【編集】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ③ 「品目情報変更」を選択し [確定] キーを押します。変更可能なテキストボックスまたはバーコードのうち先頭のもの（左上に近いもの）が表示されます。

かな	← 【名称】
英大	生 菓 子
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ④ [確定] キーまたは [▼] キーを押して変更したいインストアマーキング用バーコードまで移動します。

☞ 行き過ぎたときは[シフト]キーを押しながら[取消]キーを押します。

かな	← 【バーコード】
英大	0234561002801
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑤ [詳細確認] キーを押します。インストアマーキング修正モードになります。1行目に楽くラベルで設定したインストアマーキングの区分が、2行目には入力されている数値が表示されます。

かな	← 【フラグ】
英大	02
英小	← 【インストア】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑥ [▼] キーを押して変更したい項目を表示します。数値を入力して変更します。
[確定] キーを押すと変更した数値が確定できます。

かな	← 【価格】
英大	225
英小	← 【インストア】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑦ ほかに変更がなければ、[確定] キーを数回押します。下図の画面になります。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑧ カーソルキーで「テスト発行」を選択し、[確定] キーを押します。修正した内容で2枚プリントします。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑨ テスト印刷結果がよければ、カーソルキーで「保存」を選択し[確定]キーを押します。

かな	保存 テスト発行
英大	発行 再編集
英小	← 【品目情報変更】
数字	40.0 × 62.0
半角	

- ⑩ 保存する番号を入力し [確定] キーを押します。別名で保存する場合は使っていない番号を入力します。
ここでは「103」と入力します。

かな	No : 103
英大	名前 : まんじ 20
英小	← 【保存ファイル】
数字	40.0 × 62.0
半角	

☞ すでに登録されている番号を入力すると上書き確認画面が表示されます。

「はい」を選択 : 上書きします。

「いいえ」を選択 : ⑦の画面に戻ります。

かな	上書きしますか?
英大	はい いいえ
英小	← 【品目情報保存】
数字	40.0 × 62.0
半角	

⑪保存が終了し、⑦の画面に戻ります。

かな	保存	テスト発行
英大	発行	再編集
英小	◀【品目情報変更】	
数字	40.0 × 46.0	
半角		

⑫[取消]キーを押します。ファイル呼出画面に戻ります。

かな	No :	101
英大	名前 :	まんじ20
英小	◀【ファイル呼出】	
数字	40.0 × 46.0	
半角		

9.6. リストのレコードNo.を変更する

本機では、パソコン上で取り込んだリストデータのリンク先を変更できます。

納入先社名や住所の一括変更、データベースに基づく品目情報の変更などができます。

- 📖 リストファイルを使用するためには、パソコンでデータを作成するときにデータベースをメモリーカードに出力する必要があります。
詳しい操作方法は楽らくラベルのPDFマニュアルをご覧ください。

- ①変更するラベルの番号を入力し [確定] キーを押します。

かな	N o : 1 0 2
英大	名前 : 焼肉弁当 1
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ②ラベル名を確認し [編集] キーを押します。
「リストの変更」を選択し、[確定] キーを押します。

かな	予約登録
英大	リストの変更
英小	◀ 【編集】 ▼
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ③リストファイルと関連付けられたテキストボックスと、リンクしているレコードNo.が「リンク：」に表示されます。

かな	リンク : 0 0 0 1
英大	松楠食品
英小	◀ 【リストの変更】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- 📖 指定できる範囲は、最大 0001~1000 の範囲です。
- 📖 選択したファイル内に、リストファイルと関連付けられたテキストボックスが無い場合、以下のメッセージが表示されます。

かな	このファイルに
英大	関連付けたリスト
英小	がありません
数字	
半角	

- ④変更するリンク先No.を入力します。
ここでは「001」を「002」に変更してみます。「0」「0」「2」と入力して [確定] キーを押します。リンク先No.002に登録されているデータが表示されます。

かな	リンク先 : 0 0 2
英大	松楠
英小	◀ 【リストの変更】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑤ [確定] キーを数回押して変更内容を確認します。

かな	保存しますか?
英大	はい いいえ
英小	◀ 【リストの変更】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑥変更内容を保存する場合は「はい」を選択して [確定] キーを押します。
保存しない場合はカーソルキーで「いいえ」を選択し、[確定] キーを押します。
②の画面に戻ります。

かな	予約登録
英大	リストの変更
英小	◀ 【編集】 ▼
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑦ [取消] キーを押します。
ファイル呼出画面に戻ります。

かな	N o : 1 0 2
英大	名前 : 焼肉弁当 1
英小	◀ 【ファイル呼出】
数字	
半角	40.0 × 46.0

9.7. リストファイルのデータを修正する

本機では、パソコン上から取り込んだリストファイル（ファイル名：MAXLP80.mlt）のデータを修正できます。

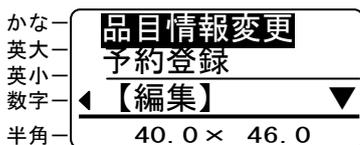
- 📖 リストファイルを使用するためには、パソコンでデータを作成するときにデータベースをメモリーカードに出力する必要があります。詳しい操作方法はPDFマニュアル、ヘルプをご覧ください。

（リストのレコード情報を呼び出す）

- ①変更するラベルの番号を入力し、[確定] キーを押します。



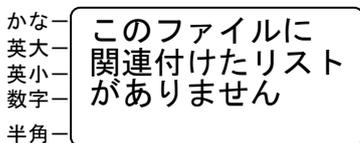
- ②ラベル名を確認し [編集] キーを押します。



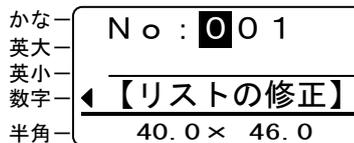
- ③ [↓] を押して「リストの修正」を選択し [確定] キーを押します。



選択したファイル内に、リストファイルと関連付けされたテキストボックスが無い場合、以下のメッセージが表示されます。

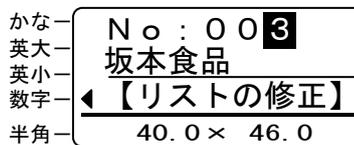


- ④ [数字] キーで呼び出すレコード No. を入力し、[確定] キーを押します。

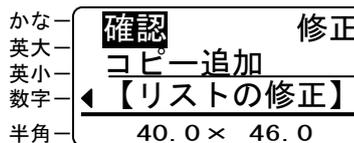


- 📖 リストの1行分のデータをレコードと呼びます。
- 📖 [↓] キー（または [↑] キー）を押して修正したいレコード No. を表示することもできます。

- ⑤ リストの先頭の情報が表示されます。[確定] キーを押します。



- ⑥ 次の画面が表示されます。



確認：選択したリスト情報の内容を表示します。

修正：選択したリスト情報を上書き修正します。

コピー追加：選択したリスト情報をコピーして新たなリスト情報を作ります。

※詳細は次のページ以降を参照ください。

変更がない場合には [取消] キーを押します。③の画面に戻ります。

(リストのレコード情報を修正する)

- ⑦カーソルキーで「修正」を選択し、[確定] キーを押します。

かな	確認	修正
英大	コピー追加	
英小	◀【リストの修正】	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

- ⑧呼び出したレコードの先頭の情報が表示されます。
[確定] キーを押して変更したい項目(フィールド)まで移動します。

📖 行き過ぎたときは[シフト]キーを押しながら[取消]キーを押します。

かな	◀松楠食品
英大	
英小	【修正して登録】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑨「箱崎店」を追加してみます。カーソルキーで文字を挿入する位置までカーソルを移動します。入力モードを「かな」に変えて、「箱崎店」と入力します。

かな	◀松楠食品箱崎店
英大	
英小	【修正して登録】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑩ [確定] キーを押します。次の項目に変わります。ほかに変更がなければ、[確定] キーを数回押します。

かな	◀保存しますか?
英大	はい
英小	いいえ
数字	【リストの修正】
半角	40.0 × 46.0

- ⑪変更内容を保存する場合は「はい」を選択して [確定] キーを押します。
保存しない場合はカーソルキーで「いいえ」を選択し、[確定] キーを押します。

かな	◀リストの変更
英大	リストの修正
英小	【編集】
数字	
半角	40.0 × 46.0

📖 このモードで修正したデータは元のレコード情報に上書きされます。

- ⑫ [取消] キーを押して、ファイル呼出画面に戻ります。

(新しくリストのレコード情報を追加する)

- ⑦カーソルキーで「コピー追加」を選択し [確定] キーを押します。

かな	確認	修正
英大	コピー追加	
英小	◀【リストの修正】	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

- ⑧保存されているレコードNo.の最後尾に、新しいレコードNo.を追加して内容をコピーします。

かな	No.005に
英大	コピーしました。
英小	◀【リストコピー】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑨再度「リストの修正」を選択し、新しく追加されたレコードNo. 005の情報を修正します。
リスト情報を選択し、[確定] キーを押します。

かな	リストの変更
英大	リストの修正
英小	◀【編集】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑩数値キーで先ほど追加したレコードNo.「005」を入力し [確定] キーを押します。

かな	No.:005
英大	坂本食品
英小	◀【リストの修正】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- ⑪次の画面が表示されます。

かな	確認	修正
英大	コピー追加	
英小	◀【リストの修正】	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

- ⑫左記の「リストのレコード情報を修正する」を参照して、レコードデータを修正します。

(リストのレコード情報を確認する)

- ⑦カーソルキーで「確認」を選択し [確定] キーを押します。

かな	確認	修正
英大	コピー追加	
英小	◀【リストの修正】	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

- ⑧先頭のレコード No.が表示されます。
[↓] キー (または [↑] キー) を押すと、次のレコード情報が表示されます。

かな	No : 001	
英大	松楠食品 東京都	
英小	◀【リストの確認】	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

かな	No : 002	
英大	松楠商事 神奈川	
英小	◀【リストの確認】	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

- ⑨ [確定] キーを押すと、②の画面に戻ります。

かな	リストの変更	
英大	リストの修正	
英小	◀【編集】▶	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

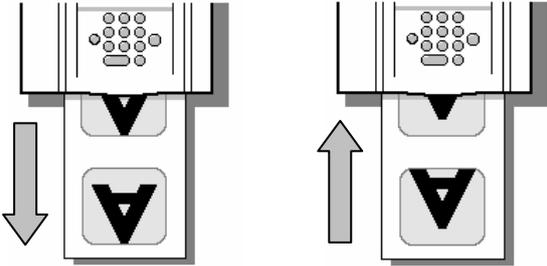
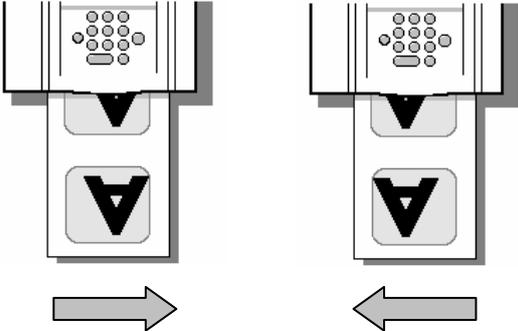
- ⑩ [取消] キーを押します。
ファイル呼出画面に戻ります。

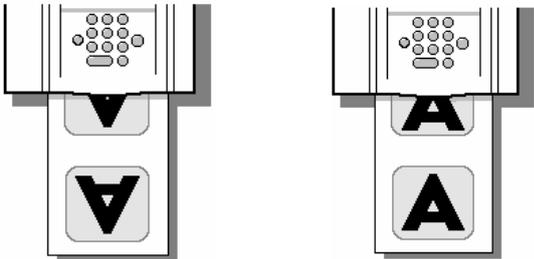
かな	No : 102	
英大	名前 : 焼肉弁当1	
英小	◀【ファイル呼出】	
数字		
半角	40.0 × 46.0	

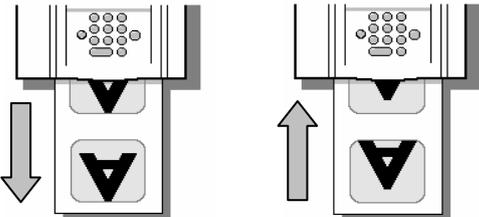
10. 環境設定

本機のシステム設定を変更できます。

(設定できる項目)

No	設定項目	内容	設定値
1	枚数の初期値	印刷枚数の初期値を設定します。	0001～5000 枚
2	オートカット枚数	<p>オートカットの枚数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1～5000：指定枚数ごとにカットします。 ※ピッチ 28mm 未満のラベルは「0000」と同じ出力結果になります。(最後しかカットしません。) ・ 0000：発行枚数を印刷後、カットします。 ・ -----：印刷後、カットしません。 <p>(-----は、[停止/削除] キーを押すことで設定できます。)</p>	0000～5000 枚 または、-----
3	印字濃度	<p>印字の濃度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印字がかすれる場合には数値を大きくします。 ・ 印字が黒く塗り潰される場合は数値を小さくします。 	薄 1～9 濃
4	位置調整送り方向	<p>用紙送り方向の印刷位置を調整します。</p> <p>(↓：数値を小さくする) (↑：数値を大きくする) 出口方向に印刷位置が移動します 出口と反対方向に印刷位置が移動します</p>  <p>* 1 ドットは 0.125 mm です。 8 ドットで 1 mm になります。</p>	↓ 16～↑ 64
5	位置調整幅方向	<p>幅方向の印刷位置を調整します。</p> <p>(→：数値を小さくする) (←：数値を大きくする) 出口から見て右方向に印刷位置が移動します 出口から見て左方向に印刷位置が移動します</p>  <p>* 1 ドットは 0.125 mm です。 8 ドットで 1 mm になります。</p>	← 64～→ 64

No	設定項目	内容	設定値
6	用紙の設定	<p>使用する用紙を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上質感熱紙 ・上質感熱紙A ・感熱ユポ紙（特注ラベル紙） ・光沢感熱紙（特注ラベル紙） ；光沢感熱紙は、別名キャストコート紙ともいいます。 <p>* 用紙の種類が正しく設定されていない場合、正しい印刷ができません。</p> <p>* 弊社製特注ラベル紙を使用するときは、本書「3.4 用紙を設定する」18～19 ページを参照ください。</p>	<p>上質感熱紙 上質感熱紙A 感熱ユポ紙 光沢感熱紙 ユーザー紙1 ユーザー紙2 ユーザー紙3</p>
7	印刷向き	<p>印刷時の向きを設定します。</p> <p>（正方向） ラベルの上側から印刷します</p> <p>（逆方向） ラベルの下側から印刷します</p> 	<p>正方向、逆方向</p>
8	入力モード初期値	<p>入力モードの初期値を設定することができます。</p> <p>[←] キー（または [→] キー）を押してお好みの初期値に設定してください。</p>	<p>数字全角 数字半角 かな全角 かな半角 英大全角 英大半角 英小全角 英小半角</p>
9	表示濃度	<p>LCDの表示濃度を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示が薄い場合には数値を大きく設定します ・表示が濃い場合には数値を小さく設定します 	<p>薄1～9濃</p>
10	ヘッド診断 (ヘッド自己診断機能)	<p>サーマルヘッドが破損していないか、機械自体が自動チェックする機能のON/OFFを設定します。</p> <p>「しない」を選択するとヘッドの一部が破損している場合でも印刷が可能になります。</p>	<p>する しない</p>
11	発行時の変更保存	<p>発行時項目変更を設定している項目を、発行時に変更した場合、その内容を毎回保存する／しないを設定します。</p>	<p>する しない</p>

No	設定項目	内容	設定値
12	時計文字列登録	ラベル発行時に、一時的に時計オブジェクトの表示を登録した文字列に変更することができます。	編集する しない
13	リスト予約印刷	関連付けたリストデータのあるラベル発行時に指定した複数のリストデータをまとめて印刷します。	する しない
14	仮想カレンダー 初期値	仮想カレンダーの機能を常時お使いになるときに設定します。 する：電源 ON 時、常に仮想カレンダー機能が ON になります しない：電源 ON 時は、仮想カレンダーは常に OFF になります。	あり なし
15	用紙戻し	ラベル印刷時の用紙戻し「する/しない」を設定します。 ・オートカットに関して「----」の場合、用紙戻しは行いません。 ・枚数が設定された場合、設定を無視し印刷終了後カットを行います。	する しない
16	印刷終了枚数表示	ラベル印刷終了時に印刷枚数表示を設定します。 する：印刷枚数を表示します。 しない：印刷枚数表示は行わず、モニタリングデータの更新も行いません。	する しない
17	用紙形状	用紙形状を設定します。通常は「ラベル」に設定します。特注紙の連続紙を使う場合のみ「連続紙」に設定します。「連続紙」を選択した場合には、印刷長によって印刷・カットを行います。また、「オートカット枚数」の設定にかかわらず、1枚毎にカットを行います。	ラベル 連続紙
18	カッタ位置調整	カッタ位置の調整ができます。 (↓：数値を小さくする) (↑：数値を大きくする) 出口方向にカッタ位置が移動します 出口と反対方向にカッタ位置が移動します  * 1 ドットは 0.125 mm です。 8 ドットで 1 mm になります。	←-64~→64

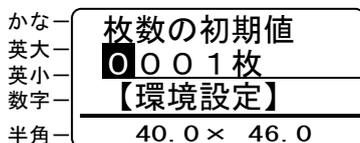
No	設定項目	内容	設定値
19	発行時変更許可	発行時変更許可の「する/しない」を設定します。 する：すべての時計オブジェクトがラベル印刷時に変更できます。 しない：楽々ラベルで発行時変更チェックが付いている時計オブジェクトのみが印刷時に変更できます。	する しない
20	電源投入モード	【LP-80Tのみ表示されます】 電源ON時の入力モードを、通常モード/トレーサビリティモードのいずれにするか設定します。 通常：LP-80通常仕様として使えます。 専用：電源ON時、トレーサビリティモードが起動します。	通常 専用
21	バージョン情報	本機械のバージョンが表示されます。	V3.10 LP-80Tは、V1.50

📖 No.21で、[↓]を押すと、No.1の設定項目に戻ります。

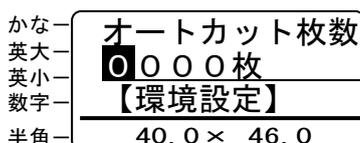
📖 No.1で、[↑]を押すと、No.21の設定項目になります。

(設定方法)

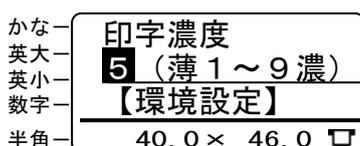
1. 「ファイル呼出」画面で [環境] キーを押します。「枚数の初期値」が表示されます。
[数値] キーで枚数を入力して [確定] キーを押します。



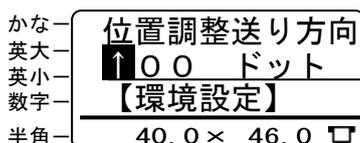
2. 「オートカット枚数」が表示されます。[数値] キーで枚数を入力して [確定] キーを押します。



3. 「印字濃度」が表示されます。
[数値] キーで濃度を入力します。[テスト印刷] キーを押して印刷します。印刷結果がよければ [確定] キーを押します。



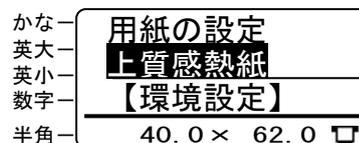
4. 「位置調整送り方向」が表示されます。
[←] [→] カーソルキーでドット数を入力します。[←] キーを押すと数値は減少し、[→] キーを押すと増加します。
[テスト印刷] キーを押して印刷します。印刷結果がよければ [確定] キーを押します。



5. 「位置調整幅方向」が表示されます。
[←] [→] カーソルキーでドット数を入力します。[←] キーを押すと数値は減少し、[→] キーを押すと増加します。
[テスト印刷] キーを押して印刷します。印刷結果がよければ [確定] キーを押します。

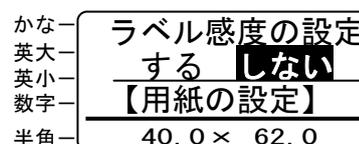


6. 「用紙の設定」が表示されます。
[←] キー (または [→] キー) セットする用紙の種類を設定し、[確定] キーを押します。



詳細は 21 ページを参照してください。

- 次に、「ラベル感度の設定」が表示されます。
「しない」を選択し、[確定] キーを押します。

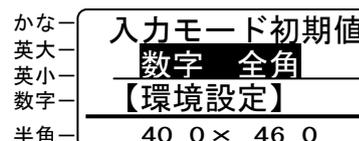


7. 「印刷向き」が表示されます。
[←] キー (または [→] キー) で印刷向きを選択して [確定] キーを押します。



正方向：頭出しで印刷されます。
逆方向：シリ出しで印刷されます。

8. 「入力モード初期値」が表示されます。
[←] キー (または [→] キー) で入力モードの初期値を選択して [確定] キーを押します。



9. 「表示濃度」が表示されます。
[数値] キーで表示濃度を入力して [確定] キーを押します。



- 10、「ヘッド診断」が表示されます。
[↓] キーを押します。

かな	ヘッド診断
英大	する しない
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

☞ 詳細は 47 ページを参照ください。

- 11、「発行時の変更保存」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）でする/しないを選択して [確定] キーを押します。

かな	発行時の変更保存
英大	する しない
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- 12、「時計文字列登録」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）で編集する/しないを選択して [確定] キーを押します。

かな	時計文字列登録
英大	編集する しない
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

☞ 「編集する」を選択したときの操作は、25 ページを参照ください。

- 13、「リスト予約印刷」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）でする/しないを選択して [確定] キーを押します。

かな	リスト予約印刷
英大	する しない
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

☞ 「する」を選択すると、リストデータと関連付けられているラベルを発行するとき、リスト予約印刷モードになります。

- 14、「仮想カレンダー 初期値」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）であり/なしを選択して [確定] キーを押します。

かな	仮想カレンダー 初期値
英大	あり なし
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- 15、「用紙戻し」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）でする/しないを選択して [確定] キーを押します。

かな	用紙戻し
英大	する しない
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- 16、「印刷終了枚数表示」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）でする/しないを選択して [確定] キーを押します。

かな	印刷終了枚数表示
英大	する しない
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- 17、「用紙形状」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）でラベル/連続紙を選択して [確定] キーを押します。

かな	用紙形状
英大	ラベル 連続紙
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

☞ 「連続紙」とは、糊無しの特注紙です。

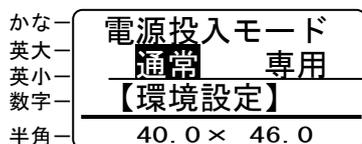
- 18、「カット位置調整」が表示されます。
[←] [→] カーソルキーでドット数を入力し [確定] キーを押します。[←] キーを押すと数値は減少し、[→] キーを押すと増加します。

かな	用紙形状
英大	+00 ドット
英小	(-64 ~ 64)
数字	
半角	40.0 × 46.0

- 19、「発行時変更許可」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）でする/しないを選択して [確定] キーを押します。

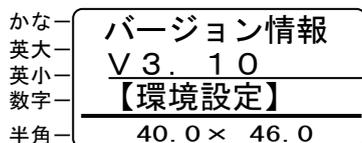
かな	発行時変更許可
英大	する しない
英小	【環境設定】
数字	
半角	40.0 × 46.0

- 20、【この項目は LP-80T のみ表示されます】
「電源投入モード」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）で通常/専用を選択して [確定] キーを押します。



📖 詳細は LP-80T 取扱説明書追補版を参照ください。

- 21、「バージョン情報」が表示されます。
[取消] キーを押します。ファイル呼出画面に戻ります。



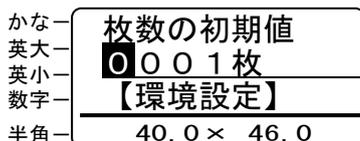
《共通の注意事項》

- 📖 各設定項目では [確定] キーを押すと入力した値が設定されます。
[↑] キー（または [↓] キー）で項目間を移動すると、入力した値は設定されませんので、ご注意ください。
- 📖 環境設定を途中で終了するときは、[前画面] キーを押します。ファイル呼出画面に戻ります。
※ [確定] キーで設定した項目は有効です。
- 📖 画面左下に インジケータが表示されているときは、テスト印刷が可能です。各設定の確認にご使用ください。

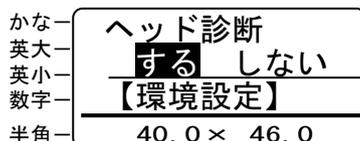
11. サーマルヘッド自己診断機能

本機には、サーマルヘッドの異常を検知する自己診断機能が搭載されています。バーコードを含むラベルを印刷するときには、必ず設定を有効にしてお使いください。

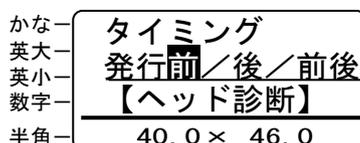
- ①「ファイル呼出」画面で「環境」キーを押します。「枚数の初期値」が表示されます。



- ② [↑] [↓] キーを数回押して「ヘッド診断」を表示します。
[←] キー（または [→] キー）で「する」を選択して [確定] キーを押します。



- ③「タイミング」が表示されます。
[←] キー（または [→] キー）でヘッド診断を行なうタイミングを選択して [確定] キーを押します。

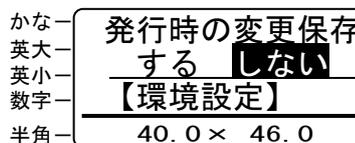


- ヘッド診断機能を有効（「する」）に設定すると、そのタイミングでの処理時間が約 1 秒長くなります。

- 設定時の処理時間は下表のとおりです。

タイミング	処理時間
発行前	発行枚数設定後印刷開始まで約 2 秒かかります。
発行後	発行後、ファイル呼び出し画面に戻るまでに約 4 秒かかります。
発行前後	上記の合計となり、発行 1 回当たり、合計約 6 秒の処理時間がかかります。

- ④「発行時の変更保存」が表示されます。
[取消] キーを押します。ファイル呼出画面に戻ります。



【エラーが表示された場合の対処】

(エラー500：ヘッドに異常個所があります)

- 電源 ON 時に表示される場合があります。
- ラベル発行時に「エラー501」が表示されなければ、問題なくお使いいただけます。

(エラー501：ヘッド異常。修理して下さい)

- 印刷した（または、しようとした）ラベルの印刷範囲内にヘッドの素子破損個所があります。

(ラベルにバーコードがある場合)
サーマルヘッドを交換してください。
バーコードが正しく読み取れない場合があります。

(ラベルにバーコードが無い場合)
「ヘッド診断機能」を「しない」に設定し、印刷してみてください。
印刷結果が問題ないと判断されれば、そのままご使用になって差し支えありません。

(エラー502：ヘッド IC 異常。修理して下さい)

- サーマルヘッドの制御 IC が破損しています。
サーマルヘッドを交換してください。

12. テスト印刷

画面右下に  が表示されているとき、テスト印刷することができます。

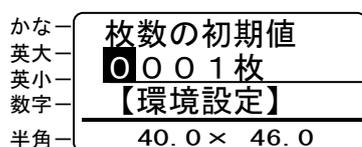
テスト印刷とは、設定や内容を変更したとき、2枚印刷してその内容を確認できるモードです。

印刷結果の確認には2枚目を使ってください。

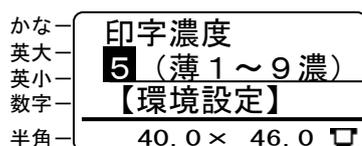
1枚目は印刷位置がずれる場合があります。

(使用例：印字濃度を変更する)

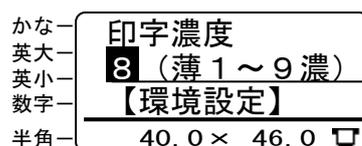
- ①「ファイル呼出」画面で「環境」キーを押します。「枚数の初期値」が表示されます。



- ② [↓] キーを2回押します。



- ③右下に  テスト印刷インジケータが表示されます。[数値]キーで任意の数値を入力します。ここでは[8]を入力します。



- ④「確定」する前に[テスト印刷]キーを押します。印字濃度[8]に相当する印刷を2枚行ないます。

【テスト印刷できるモード】

- 「環境設定」－「印字濃度」
- 「環境設定」－「位置調整送り方向」
- 「環境設定」－「位置調整幅方向」
- 「環境設定」－「用紙の設定」
- 「環境設定」－「印刷向き」

 各項目の詳細は「10. 環境設定」(51ページ)をご覧ください。

「品目情報変更」

 詳細は「9.3 文字情報を修正する」(41ページ)、
「9.4 バーコードを修正する」(43ページ)を参照ください。

13. モニタ機能

印刷した枚数を日別、週別、月別で管理することができます。

- モニタデータは、2ヶ月間保持します。
- モニタデータは、日時設定で日付を変更すると消去されますのでご注意ください。

(一定期間の印刷枚数を確認する)

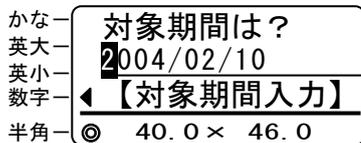
①「ファイル呼出」画面で[モニタ]キーを押します。



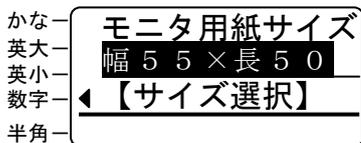
② [↑] [↓] カーソルキーで印刷する期間(日別、週別、月別)を選択して[確定]キーを押します。
ここでは[月別ファイル別]を選択します。



③ [数値]キーで対象期間の開始月日を入力します。[発行]キーを押します。



④出力する用紙サイズを選びます。
[←]キー(または[→]キー)を押して出力する用紙サイズを選び、[発行]キー(または[確定]キー)を押します。



📖 ちょうどのサイズが無い場合は、セットしている用紙の一回り小さいサイズの用紙を選びます。

📖 用紙サイズは下記の標準紙サイズから選択できます。

- ・幅40×長さ28mm
- ・幅40×長さ46mm
- ・幅40×長さ62mm
- ・幅55×長さ50mm
- ・幅60×長さ30mm

⑤レポートが印刷されます。

対象期間

レポート	2004/02/10~2004/02/29	月発行	
ファイル	発行枚数	ファイル	発行枚数
001	00000100	876	00000001
121	00000020	900	00012000
286	00000312		
344	00000060		
409	00000250		
536	00000020		
678	00000109		
712	00002000		
計	00014872		

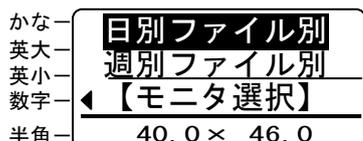
累計枚数 ファイル番号と発行枚数

(ファイルを作成する)

①ファイルを作成するメモリカードを本体に挿入します。

📖 ラベルデータを保存しているメモリカードがそのまま使えます。ラベルデータが消えることはありません。

②「ファイル呼出」画面で [モニタ] キーを押します。



③ [↑] [↓] カーソルキーで [CSVファイル] 選択して [確定] キーを押します。



④メモリカード内の LP80 フォルダの中に「LP80MON.CSV」ファイルが作成されます。②の画面に戻ります。

印刷したファイル番号と枚数 印刷年月日 (2ヶ月分)

FILE	2004/01/10	2004/01/11	2004/03/09
1	0	0	100
121	300	1200	950
:	:	:	:
900	2000	1300	1500
R1	250000		
R2	1840	2004/02/01	

累計枚数 1 (初期化不可)

累計枚数 2 (初期化可能)

累計 2 を初期化した年月日

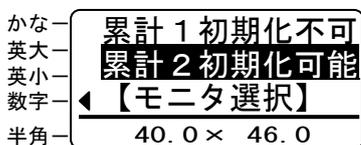
⑤作成したデータは、パソコン上でエクセルなどの表計算ソフトにて編集・加工ができます。

(累計枚数を確認する)

- ①「ファイル呼出」画面で [モニタ] キーを押します。



- ② [↑] [↓] カーソルキーで [累計1 初期化不可] または [累計2 初期化可能] を選択して [確定] キーを押します。ここでは [累計2 初期化可能] を選択します。



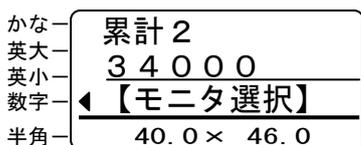
[累計1 初期化不可] :

最初に電源を入れた時からの累計枚数を表示します。初期化することはできません。

[累計2 初期化可能] :

初期化可能な累計枚数です。

- ③累計枚数が表示されます。

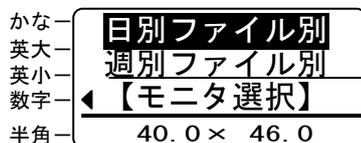


- ④[確定]キーを押します。①の画面に戻ります。

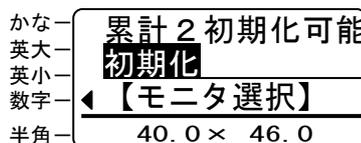


(累計枚数を初期化する)

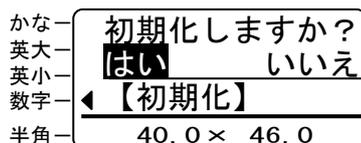
- ①「ファイル呼出」画面で [モニタ] キーを押します。



- ② [↑] [↓] カーソルキーで [初期化] を選択して [確定] キーを押します。



- ③ [←] [→] カーソルキーで「はい」を選択して [確定] キーを押します。



- ④初期化終了後、①の画面に戻ります。



* 初期化できるのは「累計2」のみです。

14. こんなときは

14.1. エラー表示と対処方法

LCD画面に次のエラーメッセージが表示されたときは、下表に従って対処してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
【エラー100】 カードがありません	メモリカードがセットされていません。	本機の電源をOFFにし、メモリカードをセットしてください。
【エラー101】 指定のファイルがありません	指定した番号のファイルがありません。または、ファイル形式が異なります。	楽らくラベルで再度データを書き込んでください。
【エラー102】 カードにアクセスできません	メモリカードが物理的に壊れています。	新しいメモリカードに交換して、再度楽らくラベルでデータを書き込んでください。
【エラー103】 該当するリストファイルがありません	マージしたデータベースがありません。	現在編集しようとしているラベルに関連付けられたリストファイルがありません。楽らくラベルで再度、レイアウトデータ、リストファイルを作成してください。
【エラー104】 該当するデータがありません	呼び出そうとしたデータが壊れています。	楽らくラベルで再度データを書き込んでください。
【エラー105】 有効なカードではありません	メモリカードのフォーマット形式が異なります。	Windows上でメモリカードをFAT16またはFAT12形式でフォーマットしなおしてから、再度楽らくラベルでデータを書き込んでください。 ※FAT32、NTFS形式はサポートしていません。
【エラー106】 カードの空き容量が不足しています	メモリカードの空き容量が不足しています。	Windows上でエクスプローラを開き、使っていないファイルなど余分なファイルを削除します。
【エラー107】 カードセットエラー	電源投入中にカードの抜き差しを行ないました。	カードの抜き差しは、必ず本機の電源をOFFにして行なってください。カードに保存したデータが壊れる場合があります。
【エラー108】 データを新バージョンに変換ください	旧バージョン（Ver. 1.50以前）の楽らくラベルで作成したデータです。	新機能の追加により、楽らくラベル Ver. 1.60以降ではデータ形式が異なります。
【エラー200】 カバー開きエラー	カバーを開けたままでラベルを発行しました。	カバーを閉めてください。自動的にラベルの発行を再開します。
【エラー201】 用紙がありません	用紙が印刷途中で無くなりました。または、用紙をセットせずにラベルを発行しました。	ラベル用紙をセットしてください。ラベルの発行を自動的に再開します。
【エラー202】 カッターエラー	カッターが正常に動作していません。	電源をOFFし、ドアカバーを開けて異物等をカッター周辺から取り除いてください。その後、ラベルの発行をしなおしてください。
【エラー203】 ヘッド温度異常	サーマルヘッドが高温になっています。	電源をOFFししばらくしてから再度ラベルを発行してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
【エラー205】 紙送りエラー	用紙が正しくセットされていません	「3.3 ラベルのセット」(16~17 ページ)を参照して用紙をセットしなおしてください。
	正しい用紙が選択されていません。	「3.4 用紙を設定する」(18~19 ページ)を参照して、使用する用紙を選択しなおしてください。
【エラー300】 通信データエラー	パソコンからUSBケーブルにて受信したデータが本機の正しいデータではありません。	①LP-80 のプリンタドライバを再度選択しなおして印刷してください。 ②USB ケーブルが 2m 以内のものを使っているかご確認ください。 ③USB ハブをご使用の場合はパソコンに直接接続してください。
【エラー301】 通信タイムアウトエラー	USB で受信中にデータが途絶えた。 (パソコン上に「プリンタへの書き込みエラー」または「CRC エラー」が表示されている。)	①USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ②USB ケーブルが 2m 以内のものを使っているかご確認ください。 ③USB ハブをご使用の場合はパソコンに直接接続してください。
【エラー400】 指定期間のデータはありません	モニタ機能で指定した期間のデータが存在しません。	正しい期間を入力してください。
【エラー401】 入力した日付は存在しません	日付入力で存在しない年月日が入力された。	正しい日付を入力してください。
【エラー402】 現在日以降の日を入力して下さい	現在日より前の年月日が入力された。	現在日以降の日付を入力してください。
【エラー403】 最大入力枚数は 5000 です	発行枚数で 5000 枚以上が入力された。	1~5000 枚の範囲で入力してください。
【エラー404】 最大入力文字数は 128 文字です	文字入力で 128 文字を越えて入力された。	128 文字以内で入力してください。
【エラー405】 表示できる文字数を越えました	表示できる文字数を越えた (最大 300 文字)	300 文字を越える内容は表示できません。 印刷して確認してください。
【エラー406】 バーコードデータエラー	バーコードデータに数字以外の文字が入っている	楽々ラベルでバーコードデータを確認してください。
【エラー407】 アンダーラインの設定が不正です	アンダーラインの編集用記号が正しく入力されていません。	アンダーライン編集用記号が 2 個対になるよう入力してください。
【エラー408】 上付き／下付きは数字のみ設定可能です	上付き／下付きの編集用記号が数字以外の文字に設定されています。	数字のみを挟むように入力しなおしてください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
【エラー409】 上付き／下付きの設定が不正です	上付き／下付きの編集用記号が正しく入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> ・上付き／下付きの編集用記号が2個対になるよう入力してください。 ・上付き／下付きの編集用記号は同じものが連続して入力されていなければなりません。他の編集用記号を挟んで入力しないようお願いください。
【エラー410】 この項目には設定できません	上付き、下付き文字を設定できないテキストボックスに入ろうとしています。	POP-A／B、PRICE 書体のテキストボックスには上付き・下付文字は設定できません。楽らくラベルで書体を変更してください。
【エラー500】 ヘッドに異常箇所があります	サーマルヘッドの素子が一部破損しています。	破損箇所は白抜けとなって印刷されます。印刷してみて印刷結果に問題なければ、そのままお使いいただけます。
【エラー501】 ヘッド異常 修理して下さい	印刷するラベル幅の一部分でサーマルヘッドの素子が破損しています。	サーマルヘッドを交換してください。 ※バーコードを含まないラベルを印刷する場合、ヘッド自己診断機能の設定を「しない」に設定し印刷してみてください。印刷結果に問題なければ、そのままお使いいただけます。
【エラー502】 ヘッドIC異常 修理して下さい	サーマルヘッドの制御ICが破損しています。	サーマルヘッドを交換してください。

14.2. 故障かなと思う前に

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
電源が入らない	電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源コードをコンセントにしっかり差し込み、再度電源スイッチをオンにしてください。	17
	電源ランプが点灯していますか。	点灯している場合、LCDの輝度が薄くなっている場合があります。濃度を調整してください。（「環境設定」-「表示濃度」）	52
動作しない	エラーランプが点灯していますか。	点灯している場合、「エラー表示と対処方法」に従ってください。	61 ~63
	USBケーブルが正しく接続されていますか。	USBケーブルの接続を確認してください。	15
	パソコンのプリンタ設定が正しく設定されていますか。	出力プリンタの設定をMAXLP-80に設定してください。	楽しくラベルマニユアル参照
きれいに印字されない	プリンタドライバのシート設定が適切ですか。	パソコンからの出力の場合、プリンタドライバの設定で印字濃度調整を行ってください。 スタンドアロンの場合、環境設定で印字濃度調整を行ってください。	楽しくラベルマニユアル参照
	印字がかすれたり、尾を引いたりギザギザが出ていませんか。	パソコンからの出力の場合、プリンタドライバの設定で印字濃度調整を行ってください。 スタンドアロンの場合、環境設定で印字濃度調整を行ってください。	51
	ラベル表面にホコリ・ゴミ等が付着していませんか。	本体内部にゴミ・ホコリ等がある場合は除去してからシートをセットしてください	4
	ラベルが黄変していませんか。	直射日光の当たる所に保管しますと、ラベルが感光し、正常な印字が出来なくなります。 ※ラベルは冷暗所に保管してください。	
印字位置があていない (シート排出方向)	設定を確認してください。	「環境設定」-「位置調整送り方向」で調整してください。	51
	シートセットがきちんとセットされていますか。 ラベルセンサ・幅寄せガイド・シートホルダに適切にセットされていますか。	シートセットの方法に従い、適切なセットをしてください。	16 17
	ドアがきちんとロックされていますか。	ドアがパチンというまで、「PUSH」と記載されている部分を押ししてください。	17
印字位置があていない (シート幅方向)	設定を確認してください	「環境設定」-「位置調整幅方向」で調整してください。	16 17
	幅寄せガイド・シートホルダに適切にセットされていますか。	シートセットの方法に従い、適切なセットをしてください。	17
シートを送らない	ドアがきちんとロックされていますか	ドアがパチンというまで、「PUSH」と記載されている部分を押しください。 電源を再度入れ直してください。	17

現象	確認してください	対応のしかた	参照ページ
シートが詰まる	<p>ドアがきちんとロックされていますか。</p> <p>ラベルガイドがきちんとセットされていますか。</p> <p>カッタが初期位置にありますか（シート排出位置にないか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドアがパチンというまで、「PUSH」と記載されている部分を押ししてください。 ・カッタの場合は電源を再度入れ直してください。 ・シートが詰まった場合は電源を切った後、取り出してください。 	<p>16</p> <p>17</p>
ラベルをカットしてしまふ	<p>シート設定があっていますか。</p>	<p>用紙の設定（「環境」-「用紙の設定」）を行なってください。</p>	<p>18</p> <p>19</p>

15. 製品仕様など

15.1. お客様登録をお願いします

マックスのホームページ : <http://www.max-ltd.co.jp/op/> では、次のようなサービスを無償提供しています。

- 最新ソフトのダウンロード（近日サービス開始）
- メールでのお問い合わせ
- 新製品情報

(表紙ページ)

MAX マックス株式会社

商品検索: GO

同 カタログ請求 ? お問い合わせ サイトマップ Global 詳細検索

TOP オフィス機器 機工品 住環境機器 サポート 会社情報 IR情報 採用情報

Office Equipment

ホッチキスを基盤に、パソコンリンク商品で、新しいオフィスワークを創造します。
オフィス機器

TOP > オフィス機器

食品表示ラベルが自分でできる。すぐできる。
詳細はこちら >>

Contents

- ▶ ホッチキス、製本機
- ▶ スタンプ台 朱肉
- ▶ ハンディクリップ・パンチ ハサミ・ナフバリಂಗ
- ▶ タイムレコーダ
- ▶ チェックライタ
- ▶ カッティングマシン プリンティングマシン
- ▶ ラベルプリンタ
- ▶ カード/名刺プリンタ
- ▶ チューブマーカ
- ▶ レタリングマシン
- ▶ 筆文字関連商品
- ▶ 製図機器

What's New おすすめの製品情報が満載!!

マックスタイムネットにおきまして 楽々勤怠Ver2.00.00のダウンロードサービスを開始しました。ダウンロードにはユーザー登録が必要となりますので、お客様登録終了後にご活用ください。
詳細はこちら

マックス タイムレコーダ専用タイムカード ER-Sカードのエコマークの更新に伴い、デザインの変更を行いました。なお、エコマーク認定番号は変更となりました。
詳細はこちら

国内初の自動紙揃え機構搭載パンチの時に面倒な、紙そろえ・センサー合わせ不要『マックス 紙そろえパンチャー EP-50C』新発売
商品ページはこちら

バックナンバーはこちら

ER-2015/PQ,ER-231S/PQの体験版ダウンロードはこちら
体験版ダウンロード

楽々勤計、楽々勤怠のアップデートはこちら
マックスタイムネット
www.max-time.net

Bepopアプリケーション・ドライバアップデートはこちら
Bepop-net
www.bepop-net.com

ホッチキス、製本機 | タイムレコーダ | カード/名刺プリンタ

※お客様登録をお願いします。

※上記サイトにアクセスし、画面右メニューの中段にある「お客様登録」をクリックすると登録画面になります。

15.2. ラベルデータの加工サービスについて

お客様のご使用になるラベルデータの作成を有償にて承っております。

変更数が多くて手間がかけられないときなど、ご利用ください。

詳しくは最寄りの弊社営業所、またはお客様相談ダイヤルまでお問合せください。

15.3. オプション品について

LP-80用のオプション品として、一度に多くのラベルを装填・出力するための専用フィーダ、巻取り機をご用意しております。

(専用フィーダ)

1. LP-80にて大容量ラベルロール紙を使えるようにする外付けフィーダです。
2. 25mm幅～75mm幅で最大156m巻までのラベル紙が使えます。
 - ①対応紙管内径：75mm（3インチ）、40mm、25mm（1インチ）
 - ②対応用紙種：上質感熱紙、光沢感熱紙、感熱ユボ紙
※特注で承っております。
3. フランジは、幅方向の緩み防止のためのネジがついています。

(巻取り機)

LP-80でお使いになれる巻取り機をご用意しております。

主な仕様

機種名	R-220
対応ラベル幅	25～75mm
ラベル外径	最大203mm
コア種	75mm
ラベル巻き方向	外巻き／内巻き兼用
サイズ	H220×W245×D150mm
重量	3.6Kg
使用環境	5～40℃、10～85%
電源	115V 50／60Hz

15.4. 製品仕様

商品名	LP-80	
プリント部	印字方式	熱転写方式
	印字密度	203dpi
	印字速度	100mm/sec.
印字有効範囲	最小 : 幅 25mm × 10mm 最大 : 幅 75mm × 160mm	
インターフェース	USB : USB (ver1.1)、許容ケーブル長さ 2 m	
フォント	ゴシック体 : 16x16dot、18×18dot、22×22dot、 24x24dot、32x32dot、48x48dot (第一・第二水準・非漢字・特殊漢字) PRICE : 16x24dot (数字、¥、円) POP_A : 36x48dot (数字、¥、円) POP_B : 36x48dot (数字、¥、円)	
バーコード	スタンドアロン時 : JAN8/13 パソコン端末時 : JAN8/13、code39、UPC-A/E、ITF	
使用環境	温度 : 5~35℃ 湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)	
電源	AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力	最大 70W (印字率 30%)	
外形寸法	W182 × D285 × H264 mm	
質量 (本体のみ)	6kg	

15.5. 保証書／保守サービス

【保証書について】

- * 保証期間中万一故障した場合、保証記載内容に基づき無償修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- * 保証期間後の修理はお買い求めの販売店、弊社営業所、又はマックスサービス(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に応じ有償修理いたします。
- * 保証書は、同梱されております。付属のお客様アンケートに所定の事項をご記入の上、ご返送ください。

【保守サービスについて】

- * お買い上げの販売店、又は弊社営業所、マックスサービス(株)にご相談ください。
- * 持ち込み修理 : 修理品を販売店、又はマックスサービス(株)の窓口にお持ち込みください。

修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

MAX マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8108(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL (03) 3669-8141(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 236-4121(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川 1-11-23	TEL (052) 935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭 2-10-3	TEL (019) 621-3541(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町 3-24	TEL (099) 269-5347(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館 2-14-28	TEL (0256) 34-2140(代)
群馬マックス(株)	〒371-0844	前橋市古市町 233-5	TEL (027) 210-7755(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0044	さいたま市日進町 3-421	TEL (048) 651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日 1870-1	TEL (043) 422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘 7-6	TEL (045) 364-5661(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀 8155	TEL (0263) 26-4377(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市駿河区敷地 1-3-26	TEL (054) 237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸 2-15	TEL (076) 240-1871(代)
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町 9	TEL (075) 645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町 2-1-2	TEL (078) 652-7370(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田 3-23-28	TEL (086) 246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町 761-3	TEL (087) 866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広 1-4-25	TEL (0886) 23-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山 2-1-35	TEL (089) 913-0608(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL (011) 231-6487(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL (022) 237-0778(代)
マックスサービス(株)高崎	〒370-0031	群馬県高崎市上大類町 412	TEL (027) 350-7820(代)
マックスサービス(株)埼玉	〒330-0038	埼玉県さいたま市宮原町 2-99-5	TEL (048) 667-6448(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川 1-11-23	TEL (052) 935-8210(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL (06) 6446-0815(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音 7-11-24	TEL (082) 291-5670(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL (092) 451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。